

Ⅲ 調查結果 保護者

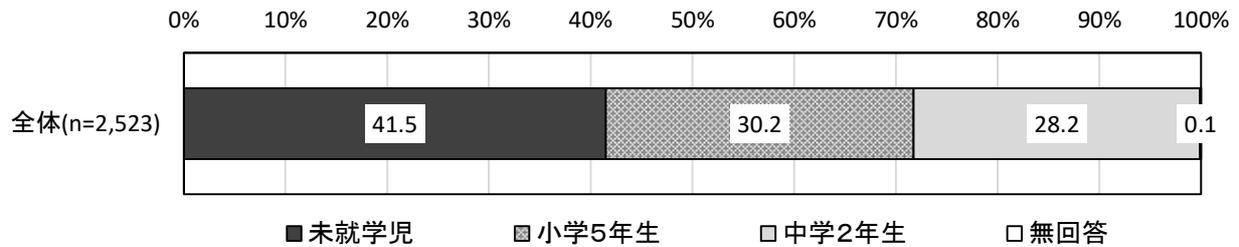
Ⅲ 調査結果 保護者

1. あなたのこと、あなたの世帯のことについて

(1) このアンケートの対象となっているお子さんは、次のどれにあたりますか。〈単一回答〉

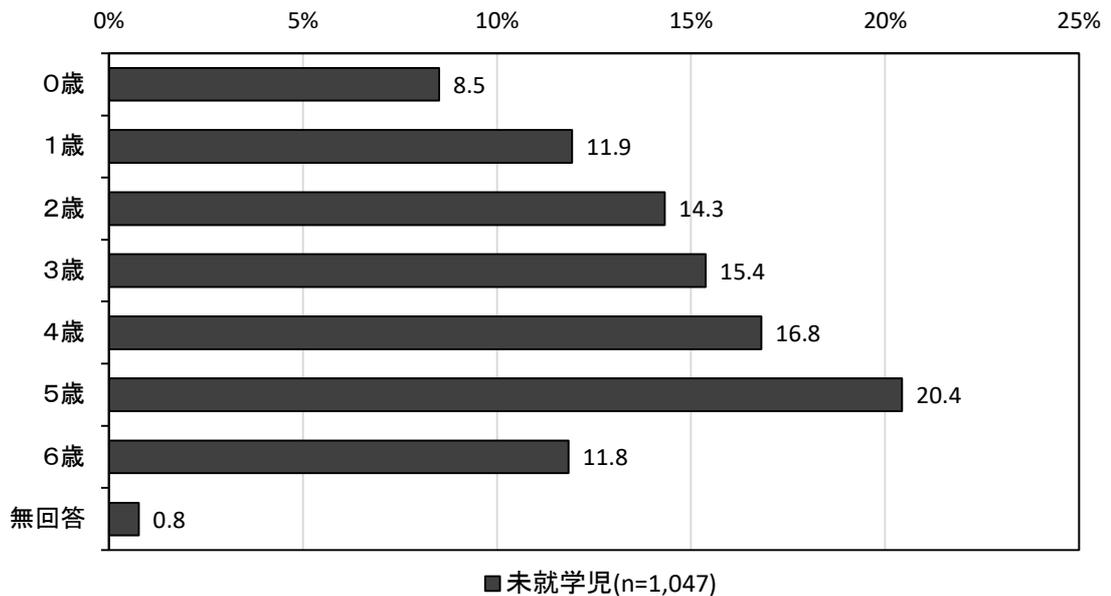
〔保護者：問1〕

アンケートの対象については、「未就学児」が41.5%、「小学5年生」が30.2%、「中学2年生」が28.2%となっています。



アンケートの対象となっている未就学児の年齢

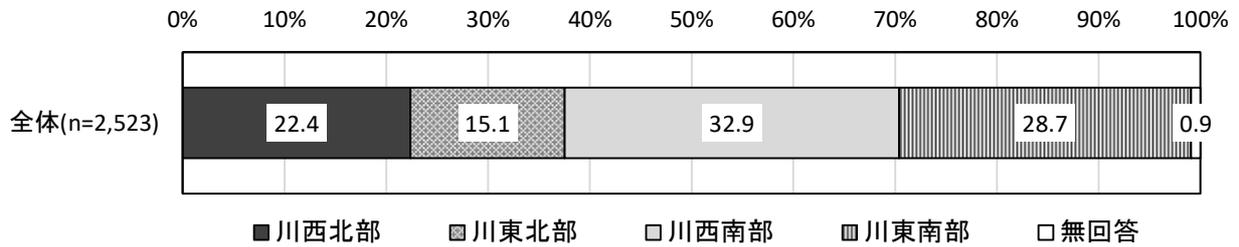
アンケートの対象となっている未就学児の年齢については、「5歳」が20.4%で最も高く、次いで、「4歳」が16.8%、「3歳」が15.4%となっています。



(2) あなたがお住まいの地区の郵便番号を記入してください。〈記述式〉

〔保護者：問2〕

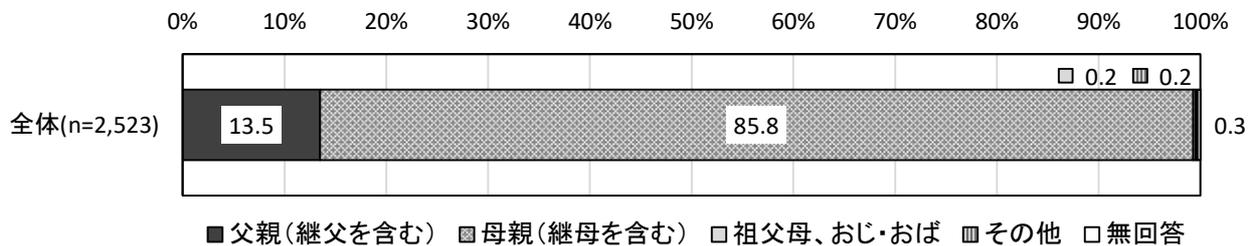
回答のあった居住地区の郵便番号を基に居住区域別に区分すると「川西北部」が22.4%、「川東北部」が15.1%、「川西南部」が32.9%、「川東南部」が28.7%となっています。



(3) お子さんとあなたとの関係は、次のどれにあたりますか。お子さんからみた続柄でお答えください。〈単一回答〉

〔保護者：問3〕

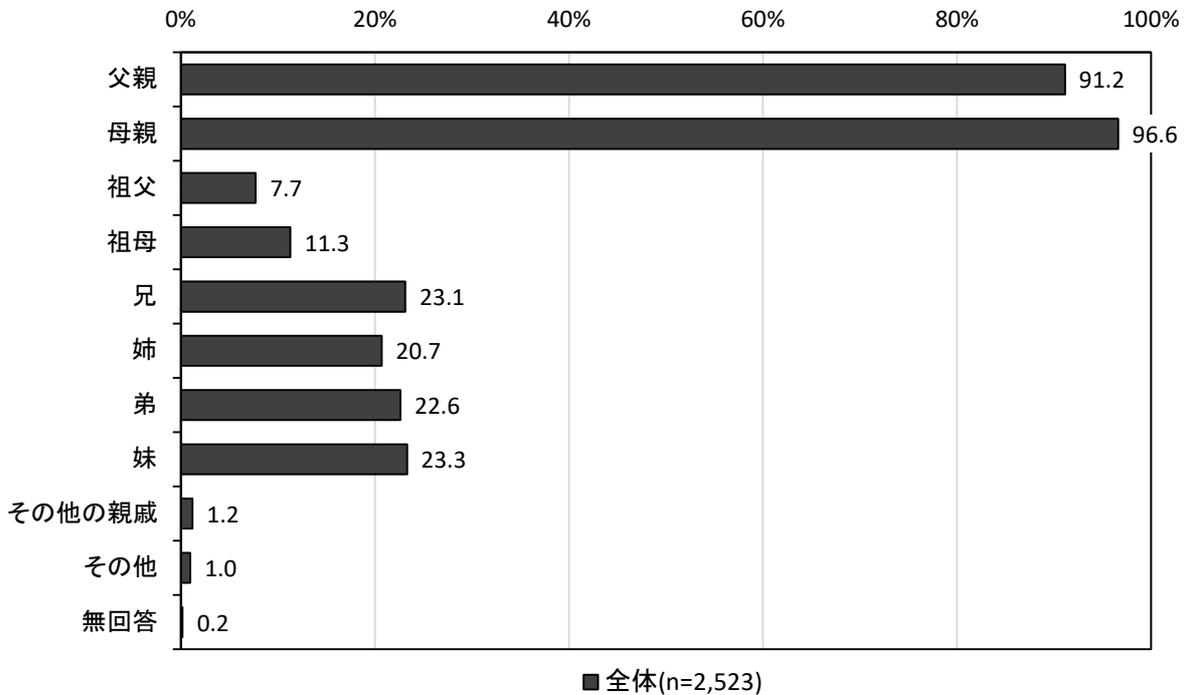
お子さんと回答者との関係については、「母親（継母を含む）」が85.8%で最も高く、次いで、「父親（継父を含む）」が13.5%、「祖父母、おじ・おば」「その他」がそれぞれ0.2%となっています。



(4) お子さんと同居し、生計を同一にしているご家族の人数（お子さんを含む）を教えてください。お子さんからみた続柄でお答えください。〈複数回答（※人数は記述式）〉
 ※単身赴任中の方も含めてください。

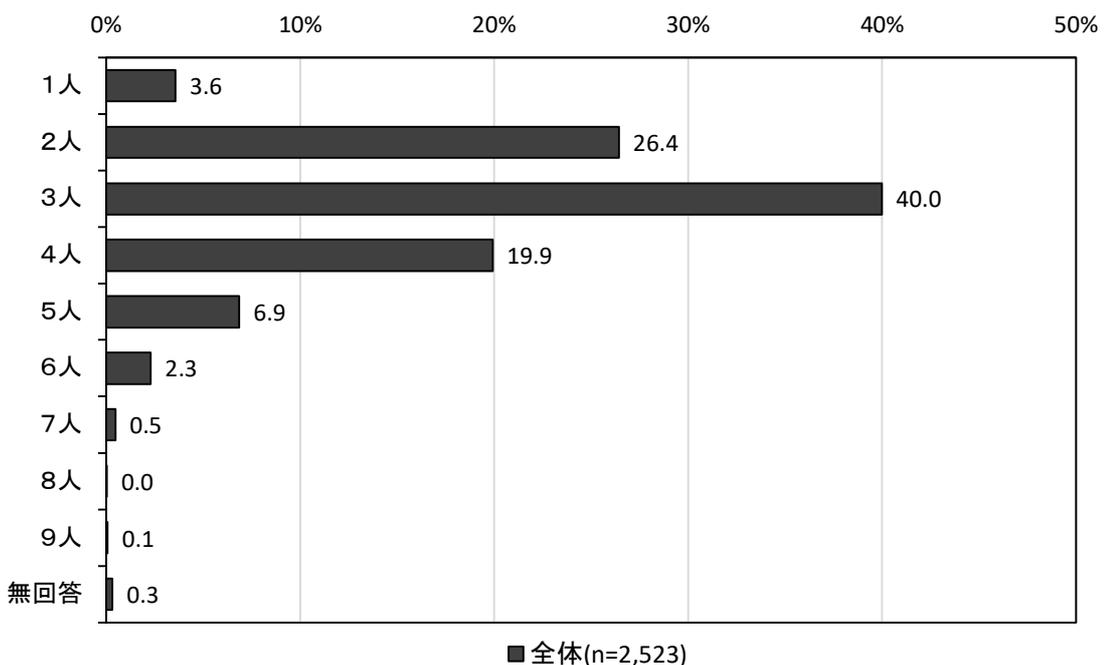
【保護者：問4】

お子さんと同居し、生計を同一にしている家族については、「母親」が 96.6%で最も高く、次いで、「父親」が 91.2%、「妹」が 23.3%となっています。



アンケートの対象となるお子さんと同居し、生計を同一にしている家族の人数

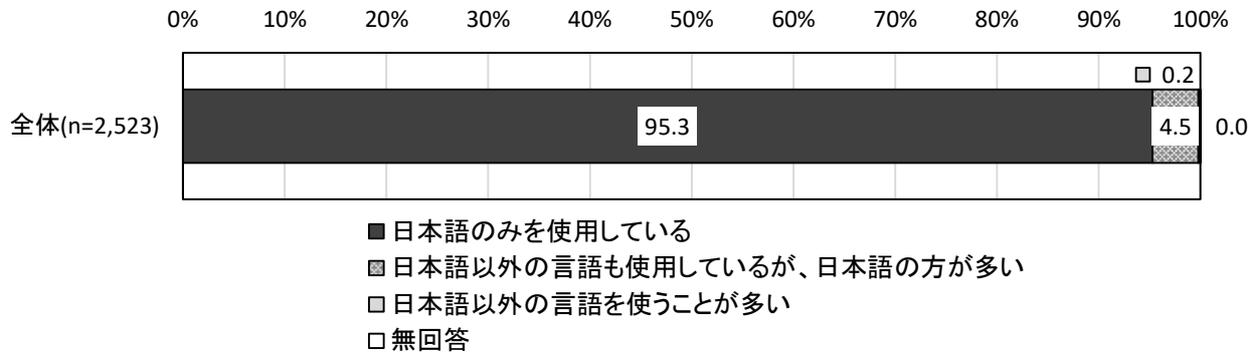
お子さんと同居し、生計を同一にしている家族の人数については、「3人」が 40.0%で最も高く、次いで、「2人」が 26.4%、「4人」が 19.9%となっています。



(5) ご家庭ではどれくらい、日本語以外の言語を使用していますか。〈単一回答〉

【保護者：問5】

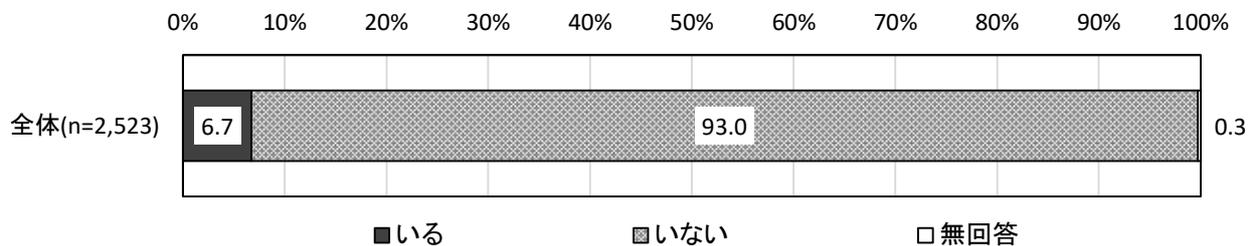
家庭内で日本語以外の言語を使用する頻度については、「日本語のみを使用している」が 95.3%で最も高く、次いで、「日本語以外の言語も使用しているが、日本語の方が多い」が 4.5%、「日本語以外の言語を使うことが多い」が 0.2%となっています。



(6) お子さんと同居しているご家族の中に、高齢であったり障がいがあったりするなど、介護や介助が必要な方はいますか。〈単一回答〉

【保護者：問6】

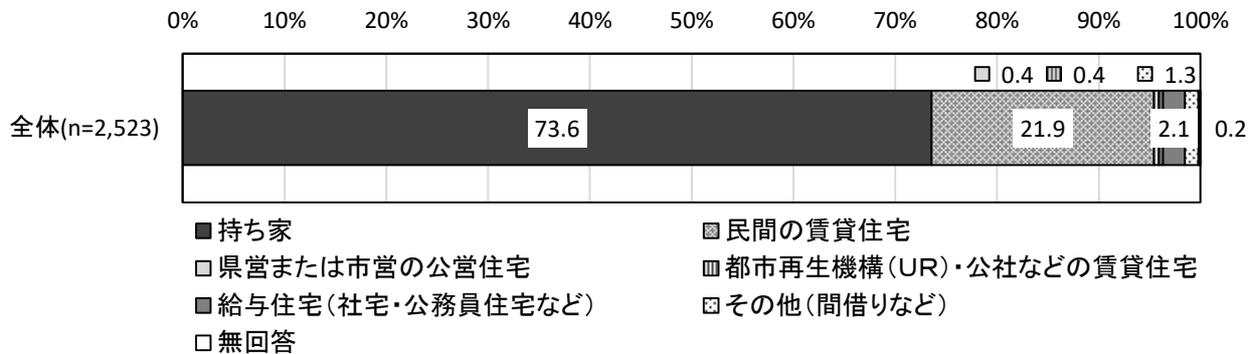
お子さんと同居している家族の中で介護や介助が必要な人がいるかについては、「いる」が 6.7%、「いない」が 93.0%となっています。



(7) 現在お住まいの住居の形態は、次のどれが最もよくあてはまりますか。〈単一回答〉

〔保護者：問7〕

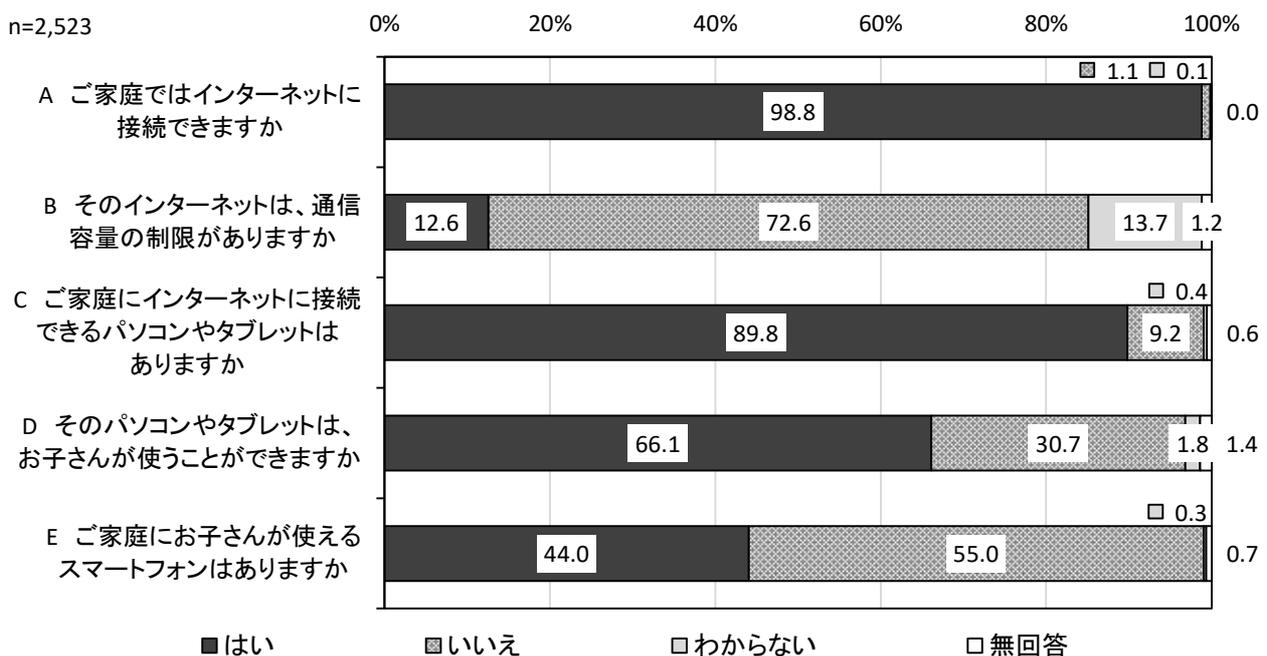
現在の居住形態については、「持ち家」が73.6%で最も高く、次いで、「民間の賃貸住宅」が21.9%、「給与住宅（社宅・公務員住宅など）」が2.1%となっています。



(8) ご家庭でのインターネット環境についてお聞きします。〈単一回答〉

〔保護者：問8〕

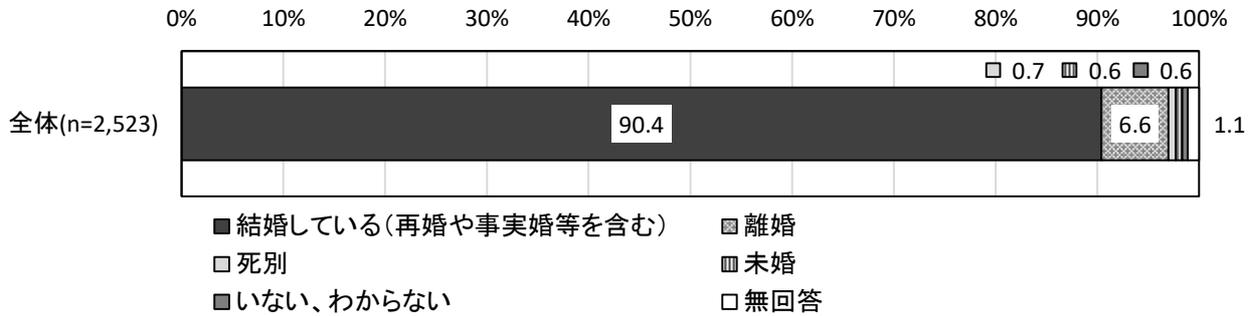
家庭でのA～Eのインターネット環境についてみると、9割前後の人がインターネット環境やそのインターネットに接続できるパソコンやタブレットを使用できる環境が整っていることがわかります。また、そのパソコンやタブレットをお子さんが使うことができる家庭は66.1%、お子さんが使えるスマートフォンがある家庭は44.0%となっています。



(9) お子さんと同居し、生計を同一にしている親の婚姻状況を教えてください。〈単一回答〉

【保護者：問9】

お子さんと同居し、生計を同一にしている親の婚姻状況については、「結婚している（再婚や事実婚等を含む）」が90.4%で最も高く、次いで、「離婚」が6.6%、「死別」が0.7%となっています。

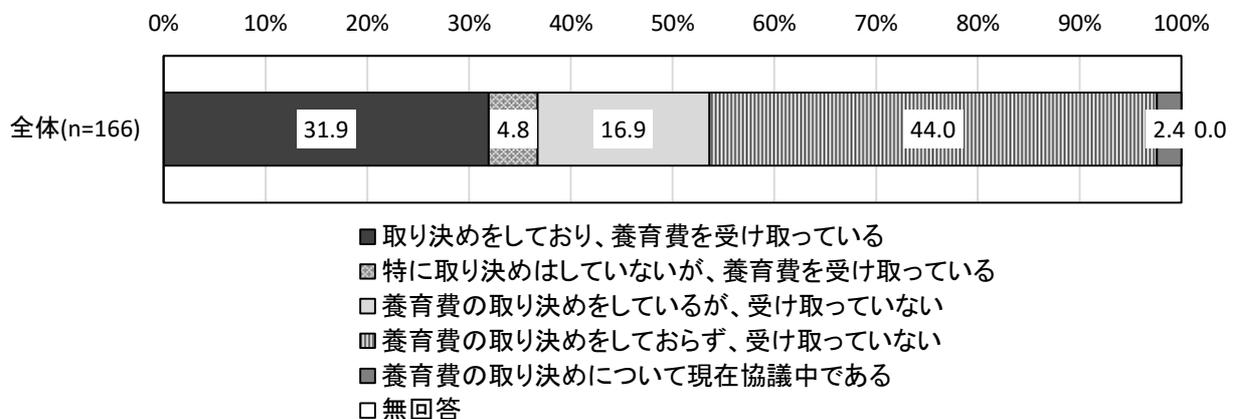


(9) で「離婚」を選んだ方にお聞きます。

(10) 離婚相手とお子さんの養育費の取り決めをしていますか。また、養育費を現在受け取っていますか。〈単一回答〉

【保護者：問10】

離婚相手とお子さんの養育費の取り決め状況や受け取り状況については、「養育費の取り決めをしておらず、受け取っていない」が44.0%で最も高く、次いで、「取り決めをしており、養育費を受け取っている」が31.9%、「養育費の取り決めをしているが、受け取っていない」が16.9%となっています。



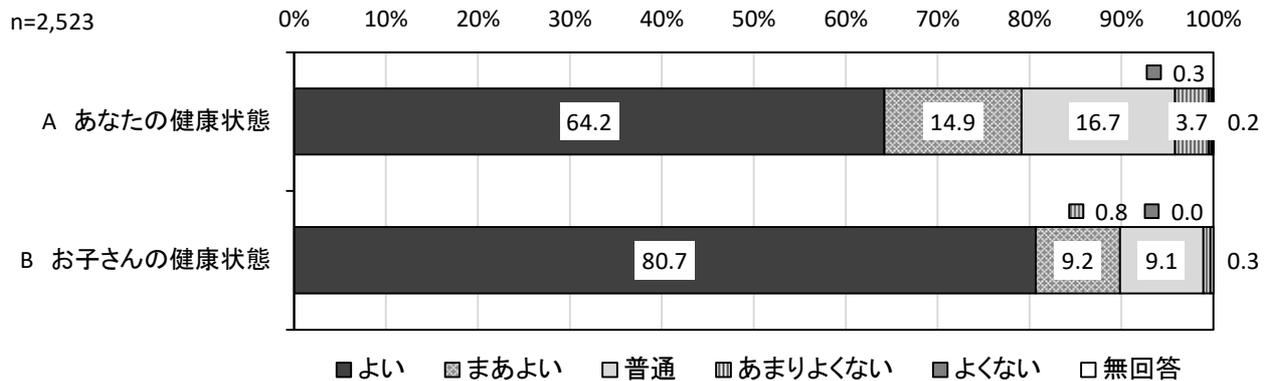
2. お子さんとあなたの健康状態について

(11) あなたとお子さんの健康状態を教えてください。〈単一回答〉

【保護者：問 11】

回答者(あなた)の健康状態については、「よい」が64.2%で最も高く、次いで、「普通」が16.7%、「まあよい」が14.9%となっています。

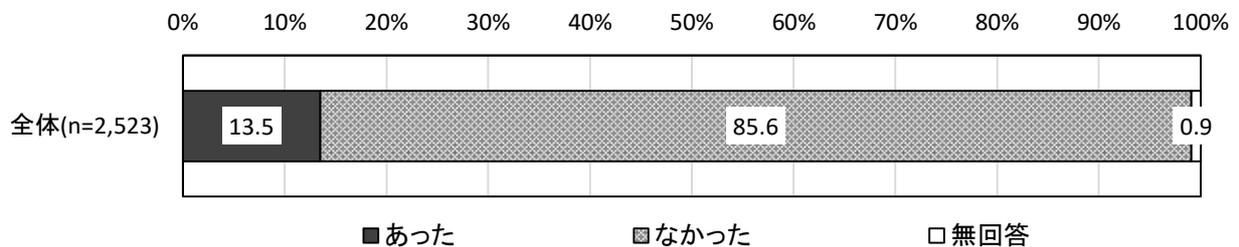
また、お子さんの健康状態については、「よい」が80.7%で最も高く、次いで、「まあよい」が9.2%、「普通」が9.1%となっています。



(12) 過去一年間に、お子さんを医療機関で受診させた方がよいと思ったが、実際には受診させなかったことがありますか。〈単一回答〉

【保護者：問 12】

過去一年間に、お子さんを医療機関で受診させた方がよいと思ったが、実際には受診させなかったことがあるかについては、「あった」が13.5%、「なかった」が85.6%となっています。

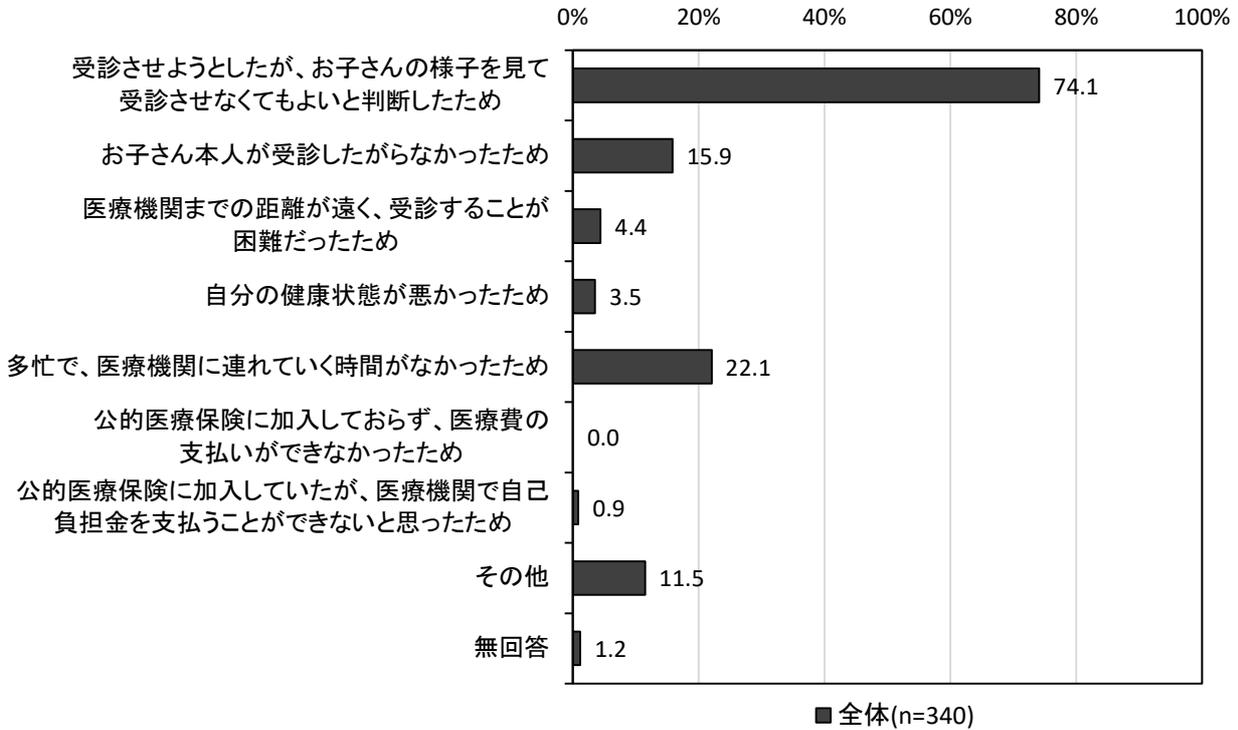


(12) で「あった」と回答した方にお聞きします。

(13) その理由は何ですか。〈複数回答〉

【保護者：問 13】

お子さんを医療機関で受診させた方がよいと思ったが、実際には受診させなかった理由については、「受診させようとしたが、お子さんの様子を見て受診させなくてもよいと判断したため」が74.1%で最も高く、次いで、「多忙で、医療機関に連れていく時間がなかったため」が22.1%、「お子さん本人が受診しなかったため」が15.9%となっています。



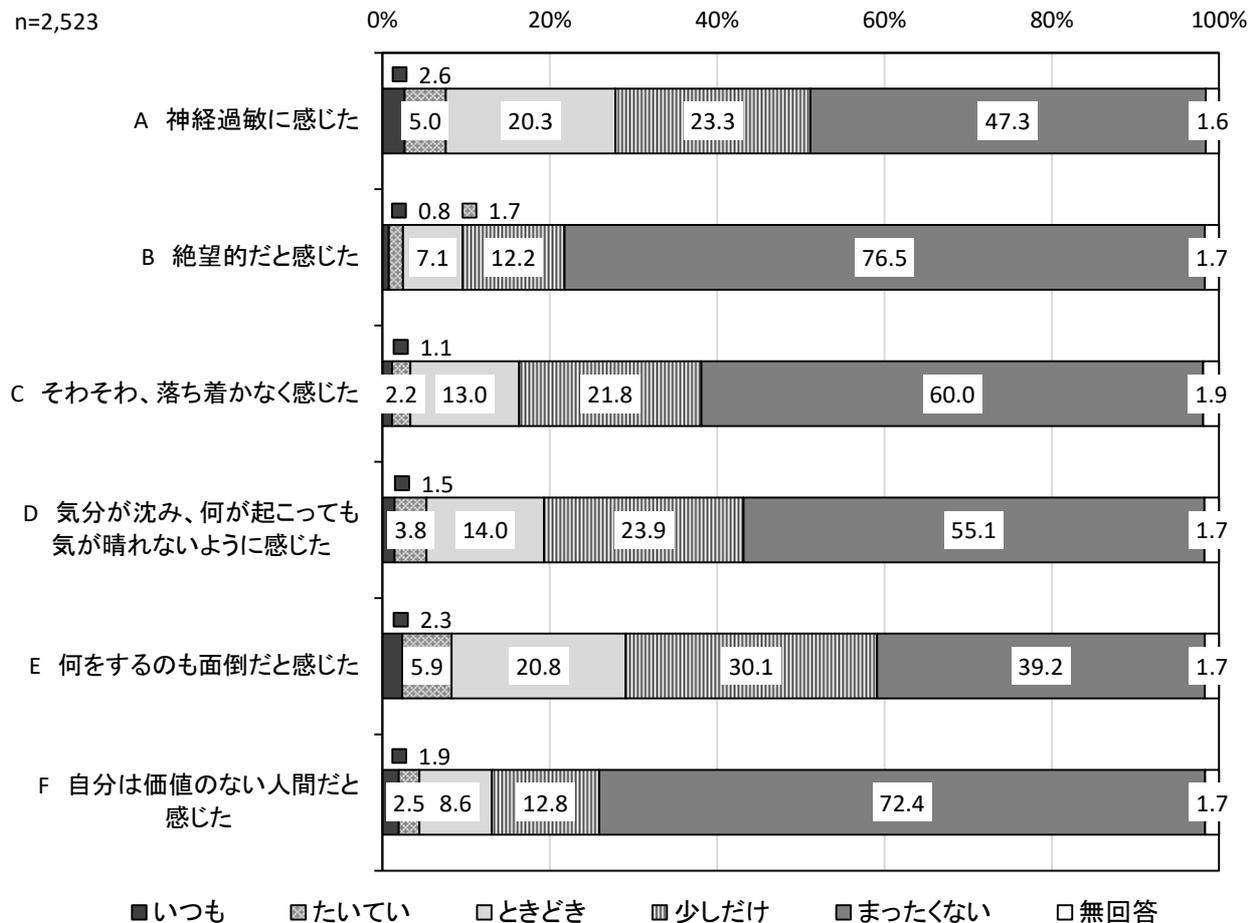
(14) 次の項目について、この1か月間のあなたの気持ちはどのようなでしたか。〈単一回答〉

[保護者：問 14]

A～Fの項目に対するこの1か月間の気持ちの状態について、すべての項目において「まったくない」の割合が最も高くなっています。

また、「いつも」と「たいてい」を合わせた『よくあった』の割合をみると、[何をするのも面倒だと感じた]が8.2%で最も高く、次いで、[神経過敏に感じた]が7.6%、[気分が沈み、何が起ころても気が晴れないように感じた]が5.3%となっています。

n=2,523



「抑うつ状態」の判定について

(14) の回答結果から回答者の「抑うつ状態」について判定を行いました。

なお、判定については、内閣府が令和2年3月に取りまとめた「令和元年度 子供の貧困実態調査に関する研究報告書」で示されている判定方法に基づき集計しました。

【判定方法】

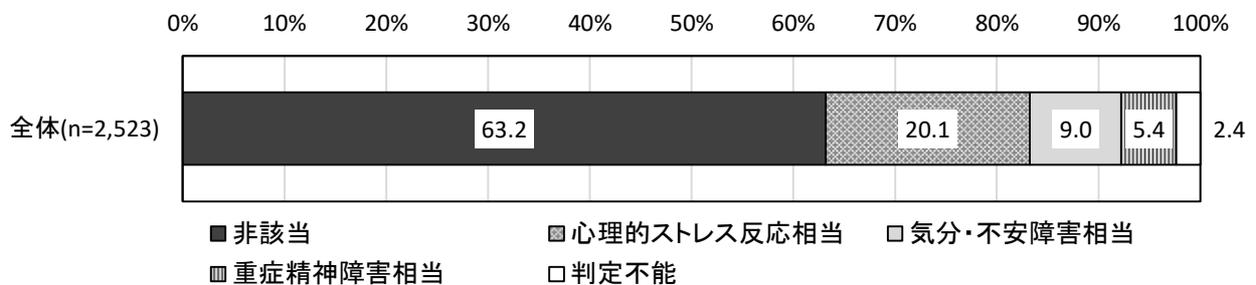
(14) A～Fの各設問において、回答を0点（「まったくない」）～4点（「いつも」）と点数化し、その合計点によって「抑うつ状態」を判定します。合計点数が高くなるほど抑うつ状態が強いことを示します。

合計点	判定結果
0～4点	非該当
5～8点	心理的ストレス反応相当
9～12点	気分・不安障害相当
13点以上	重症精神障害相当

※無回答の設問があり、判定ができない場合は、「判定不能」としています。

【判定結果】

「抑うつ状態」の判定結果について、「非該当」が63.2%で最も高く、次いで、「心理的ストレス反応相当」が20.1%、「気分・不安障害相当」が9.0%となっています。



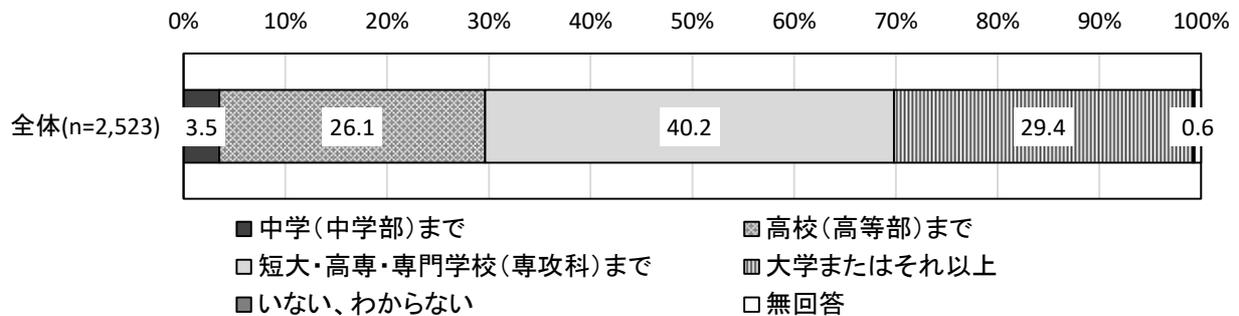
3. お子さんの母親と父親について

(15) お子さんの親の最終学歴（卒業した学校）について教えてください。〈単一回答〉

[保護者：問 15]

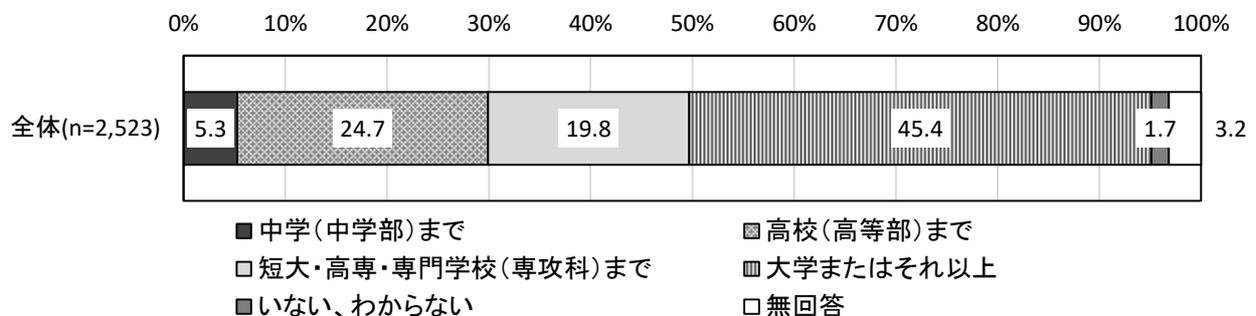
A 母親

母親の最終学歴については、「短大・高専・専門学校（専攻科）まで」が40.2%で最も高く、次いで、「大学またはそれ以上」が29.4%、「高校（高等部）まで」が26.1%となっています。



B 父親

父親の最終学歴については、「大学またはそれ以上」が45.4%で最も高く、次いで、「高校（高等部）まで」が24.7%、「短大・高専・専門学校（専攻科）まで」が19.8%となっています。

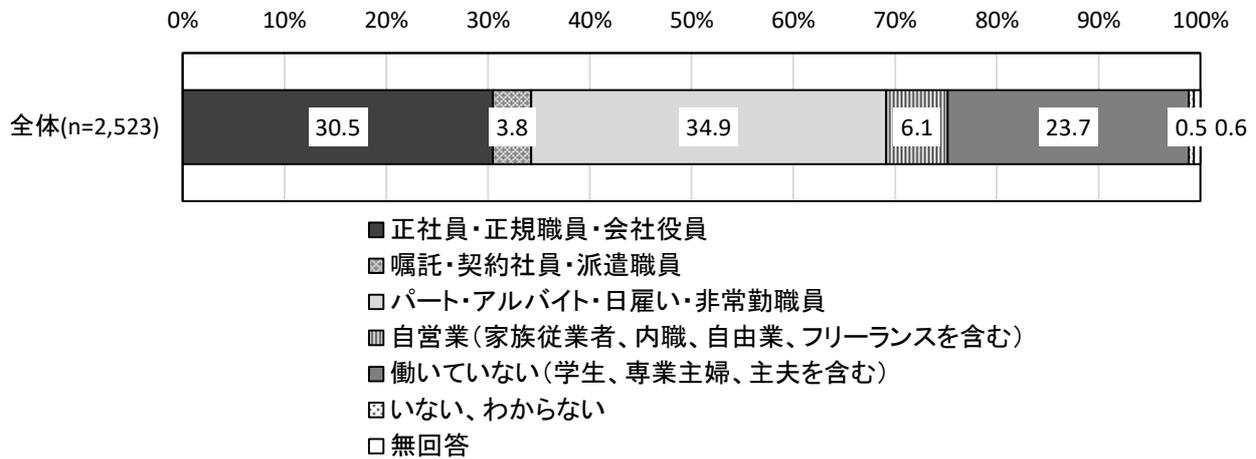


(16) お子さんの親の就労状況について教えてください。〈単一回答〉

[保護者：問 16]

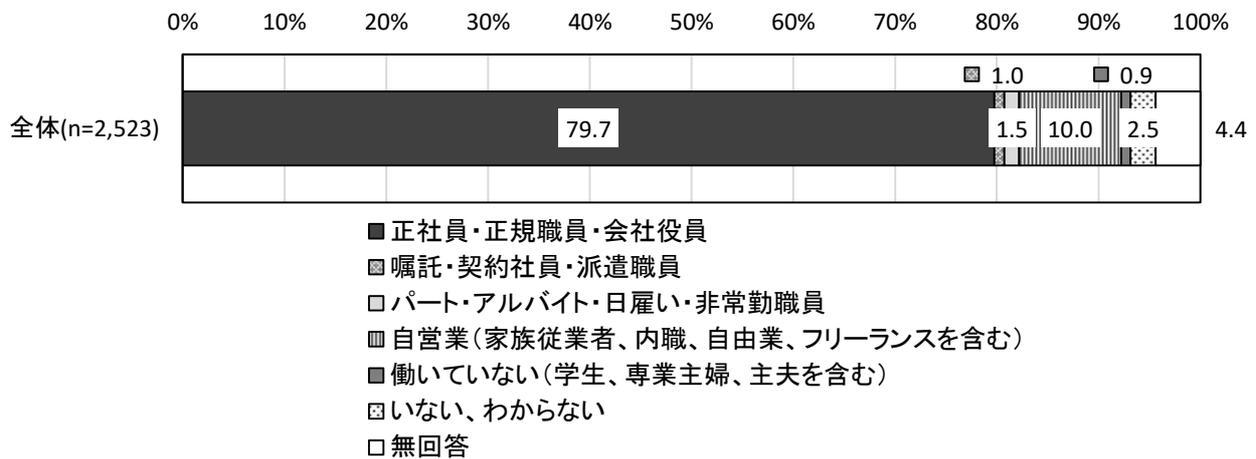
A 母親

母親の就労状況については、「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」が34.9%で最も高く、次いで、「正社員・正規職員・会社役員」が30.5%、「働いていない(学生、専業主婦、主夫を含む)」が23.7%となっています。



B 父親

父親の就労状況については、「正社員・正規職員・会社役員」が79.7%で最も高く、次いで、「自営業(家族従業者、内職、自由業、フリーランスを含む)」が10.0%、「いない、わからない」が2.5%となっています。



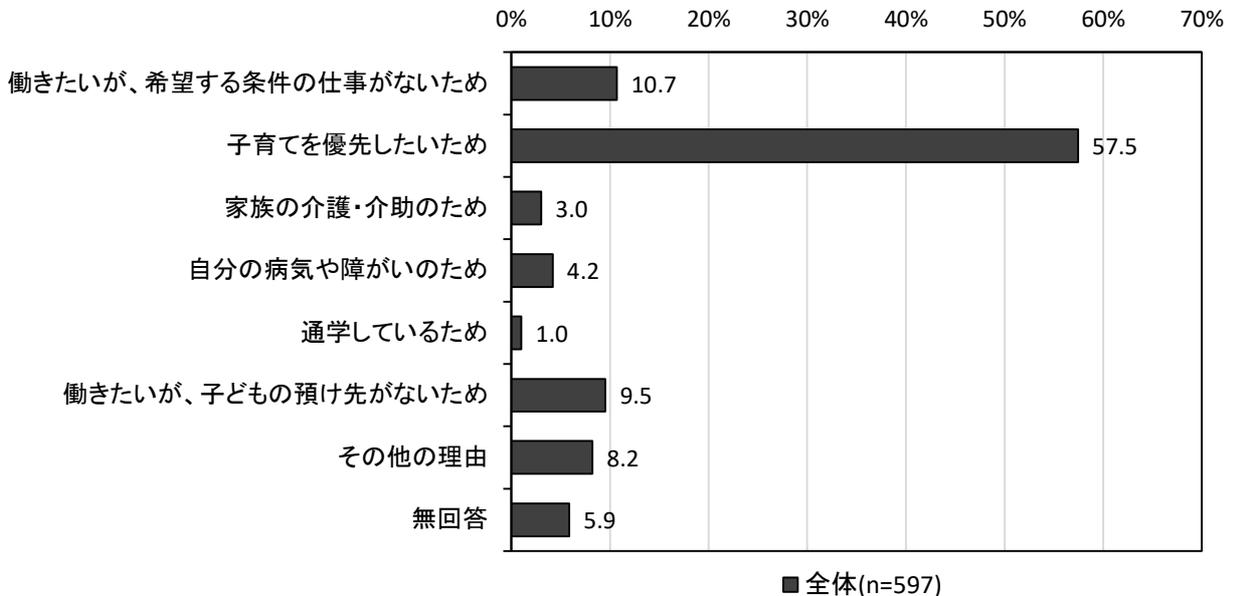
(16)で「働いていない」と選んだ方にお聞きします。

(17) 働いていない主な理由を教えてください。〈単一回答〉

【保護者：問17】

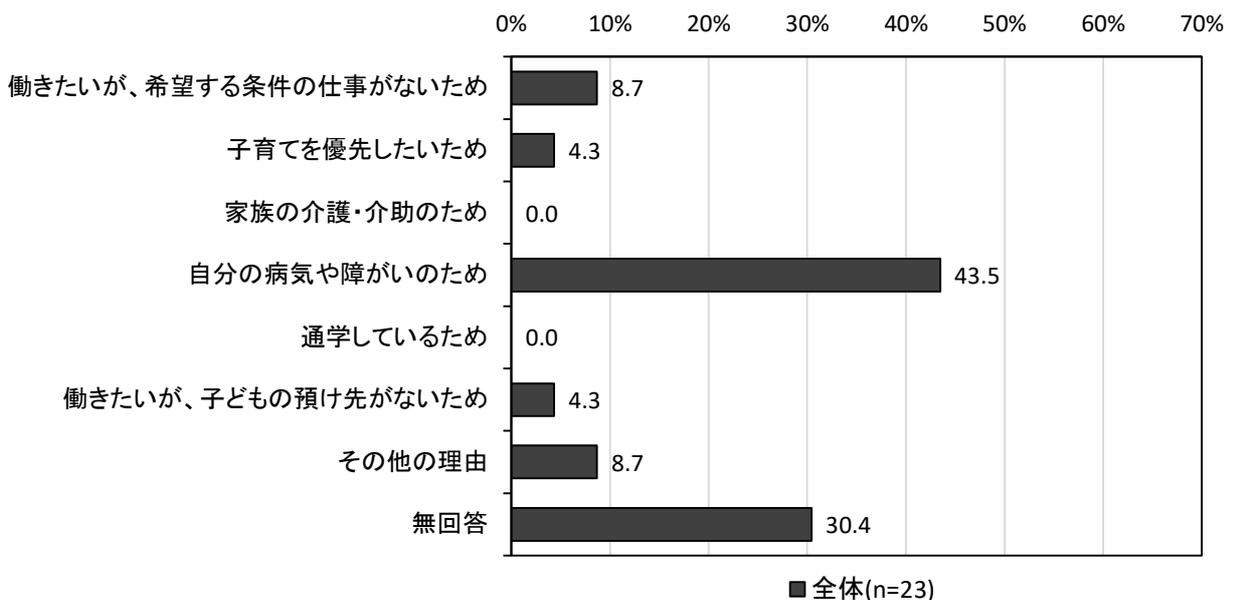
A 母親

母親が働いていない主な理由については、「子育てを優先したいため」が57.5%で最も高く、次いで、「働きたいが、希望する条件の仕事がないため」が10.7%、「働きたいが、子どもの預け先がないため」が9.5%となっています。



B 父親

父親が働いていない主な理由については、「自分の病気や障がいのため」が43.5%で最も高く、次いで、「働きたいが、希望する条件の仕事がないため」「その他の理由」がそれぞれ8.7%、「子育てを優先したいため」「働きたいが、子どもの預け先がないため」がそれぞれ8.7%となっています。



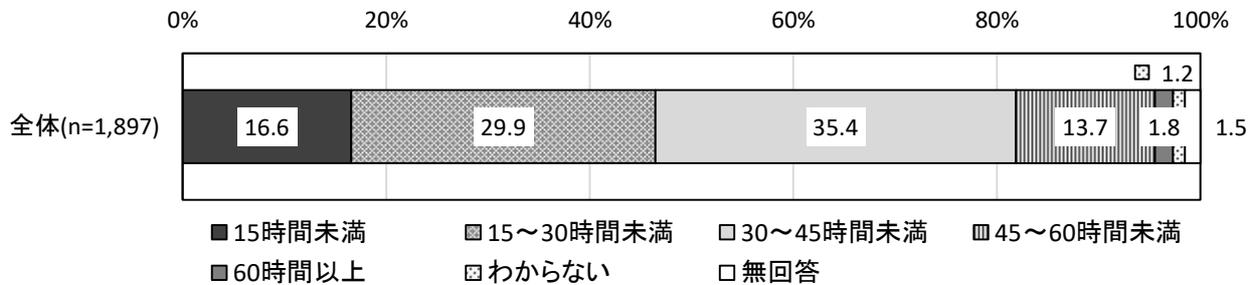
(16)で「正社員・正規職員・会社役員」、「嘱託・契約社員・派遣職員」、「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」、「自営業」と選んだ方にお聞きします。

(18) お子さんのお母さん、お父さんは、1週間に平均何時間お仕事をされていますか。〈単一回答〉

[保護者：問 18]

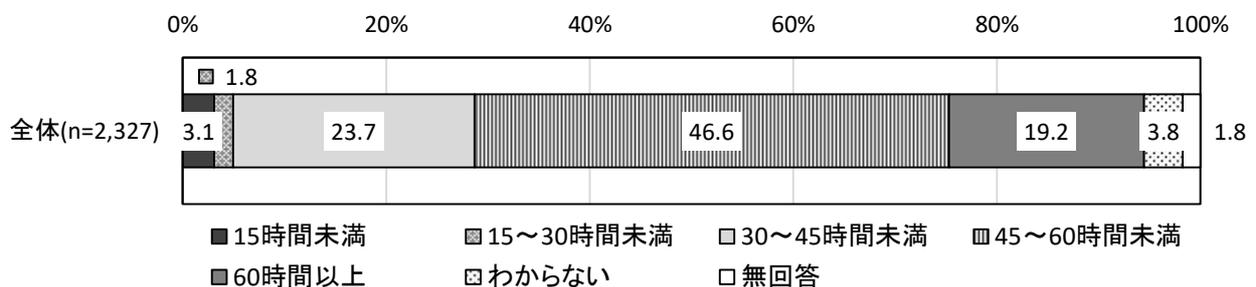
A 母親

母親の1週間の平均労働時間については、「30～45 時間未満」が 35.4%で最も高く、次いで、「15～30 時間未満」が 29.9%、「15 時間未満」が 16.6%となっています。



B 父親

父親の1週間の平均労働時間については、「45～60 時間未満」が 46.6%で最も高く、次いで、「30～45 時間未満」が 23.7%、「60 時間以上」が 19.2%となっています。



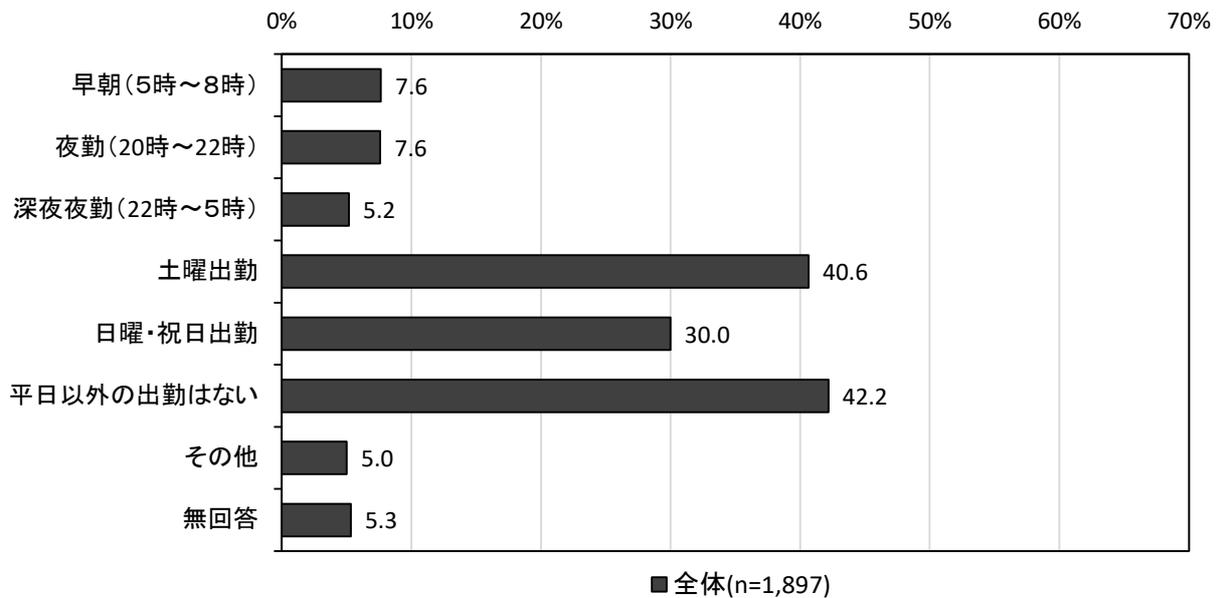
(16)で「正社員・正規職員・会社役員」、「嘱託・契約社員・派遣職員」、「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」、「自営業」と選んだ方にお聞きします。

(19) お子さんのお母さん、お父さんは、残業を含めて、平日の日中以外の勤務がありますか。
 〈複数回答〉

[保護者：問 19]

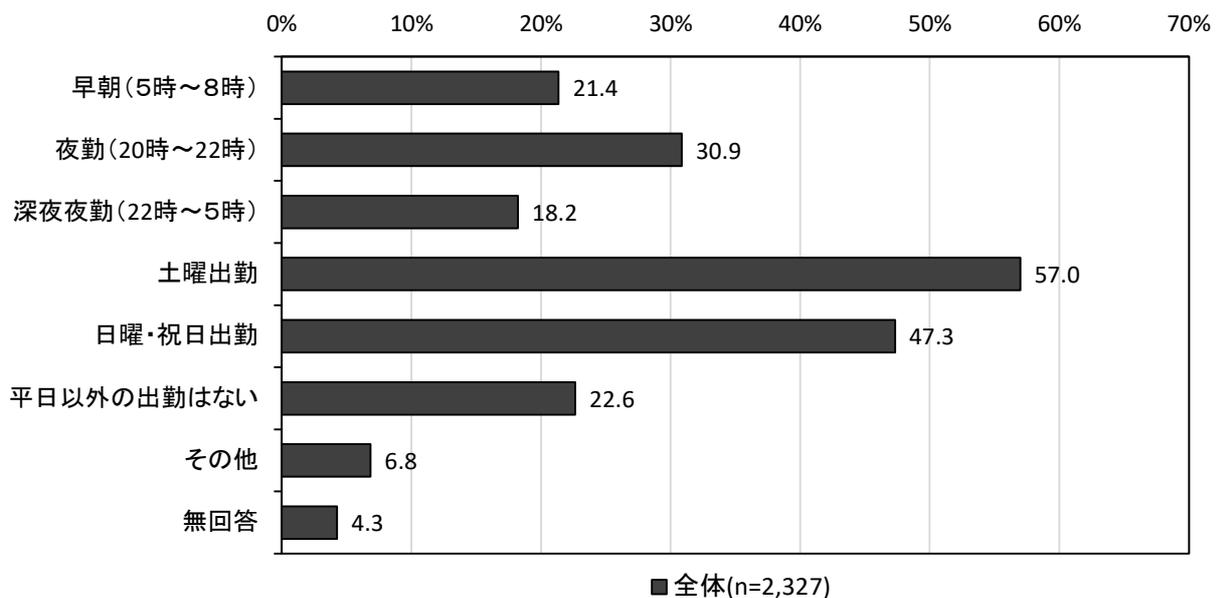
A 母親

母親の平日の日中以外における勤務状況については、「平日以外の出勤はない」が 42.2%で最も高く、次いで、「土曜出勤」が 40.6%、「日曜・祝日出勤」が 30.0%となっています。



B 父親

父親の平日の日中以外における勤務状況については、「土曜出勤」が 57.0%で最も高く、次いで、「日曜・祝日出勤」が 47.3%、「夜勤(20時～22時)」が 30.9%となっています。

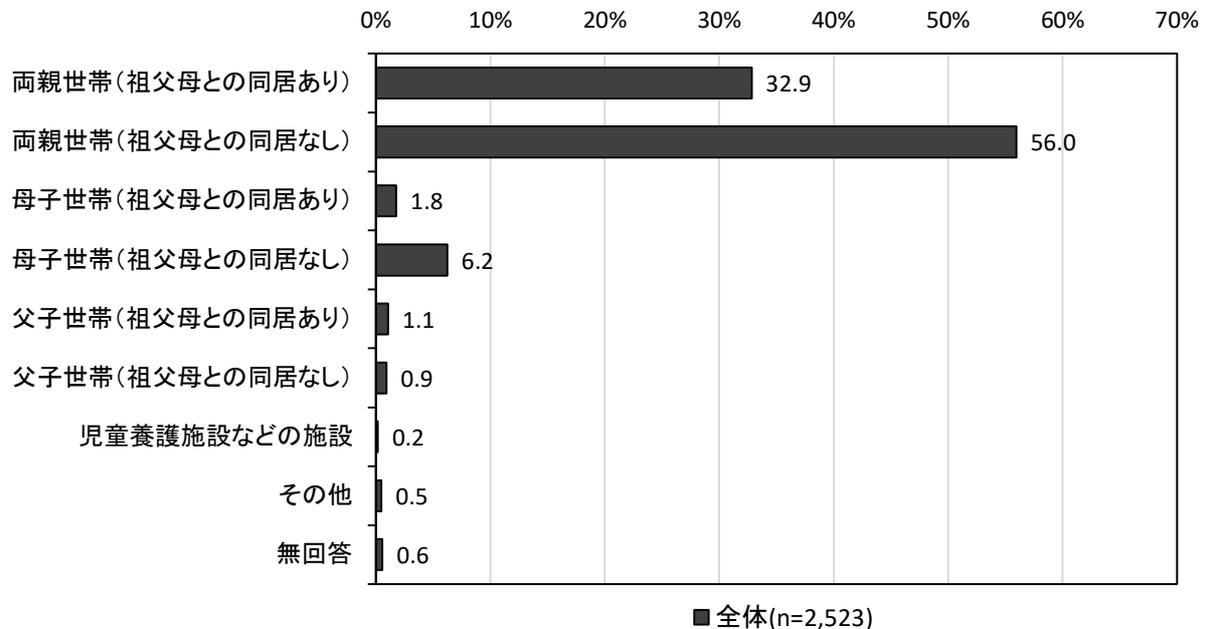


4. あなたの経験について

(20) あなたが 15 歳の頃のご家庭の様子にもっとも近いものを教えてください。〈単一回答〉

[保護者：問 20]

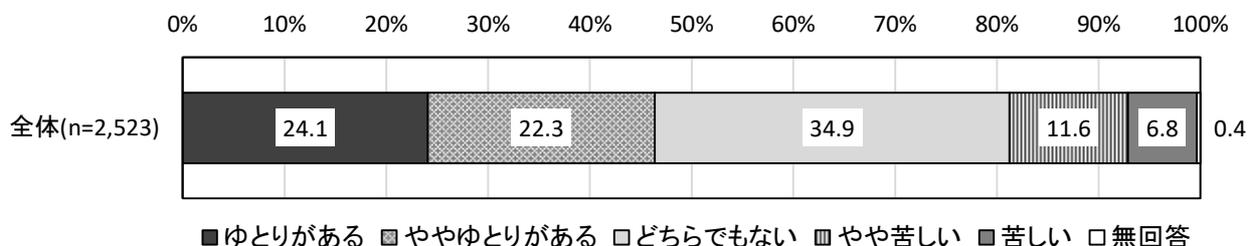
回答者が 15 歳の頃の家庭の様子については、「両親世帯（祖父母との同居なし）」が 56.0%で最も高く、次いで、「両親世帯（祖父母との同居あり）」が 32.9%、「母子世帯（祖父母との同居なし）」が 6.2%となっています。



(21) あなたが 15 歳の頃のご家庭の暮らしの状況は、どうだったと感じますか。〈単一回答〉

[保護者：問 21]

回答者が 15 歳の頃の家庭の暮らしの状況については、「どちらでもない」が 34.9%で最も高く、次いで、「ゆとりがある」が 24.1%、「ややゆとりがある」が 22.3%となっています。

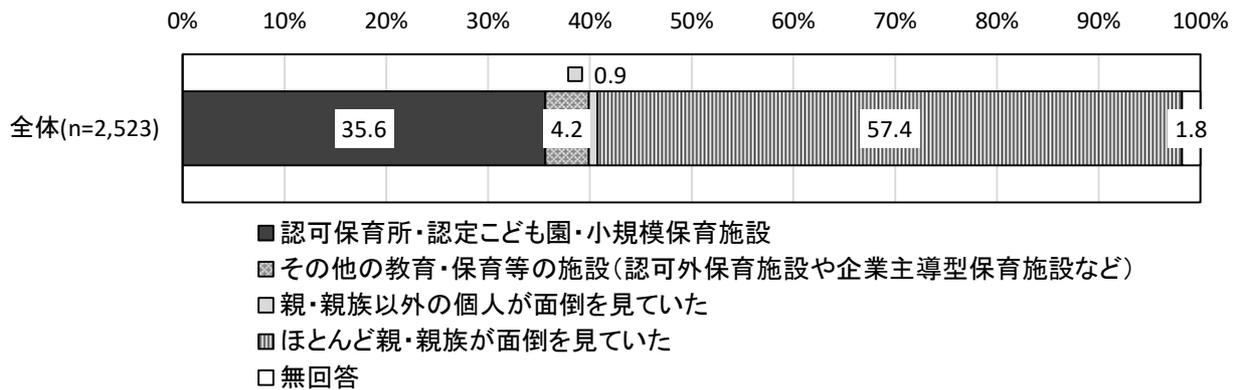


5. お子さんのこと、子育てのことについて

(22) 調査対象のお子さんが0～2歳の間に通っていた、または通っている教育・保育施設等で最も主なもの（期間が長いもの）について教えてください。〈単一回答〉

〔保護者：問22〕

お子さんが0～2歳の間に通っていた、または通っている教育・保育施設等で主なものについては、「ほとんど親・親族が面倒を見ていた」が57.4%で最も高く、次いで、「認可保育所・認定こども園・小規模保育施設」が35.6%、「その他の教育・保育等の施設（認可外保育施設や企業主導型保育施設など）」が4.2%となっています。

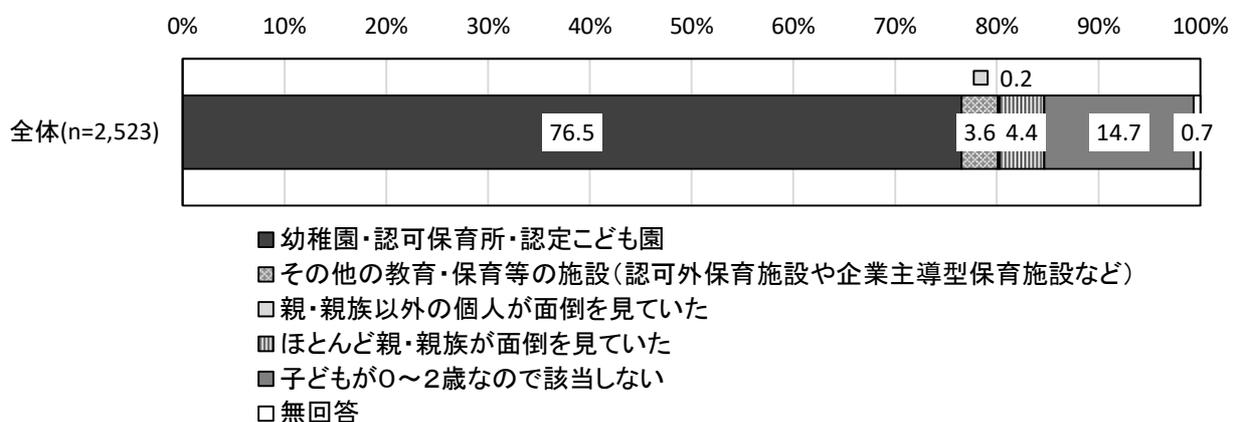


(23) 調査対象のお子さんが3～5歳の間に通っていた、または通っている教育・保育施設等で最も主なもの（期間が長いもの）について教えてください。〈単一回答〉

〔保護者：問23〕

お子さんが3～5歳の間に通っていた、または通っている教育・保育施設等で主なものについては、「幼稚園・認可保育所・認定こども園」が76.5%で最も高く、次いで、「ほとんど親・親族が面倒を見ていた」が4.4%、「その他の教育・保育等の施設（認可外保育施設や企業主導型保育施設など）」が3.6%となっています。

なお、「子どもが0～2歳なので該当しない」は14.7%となっています。

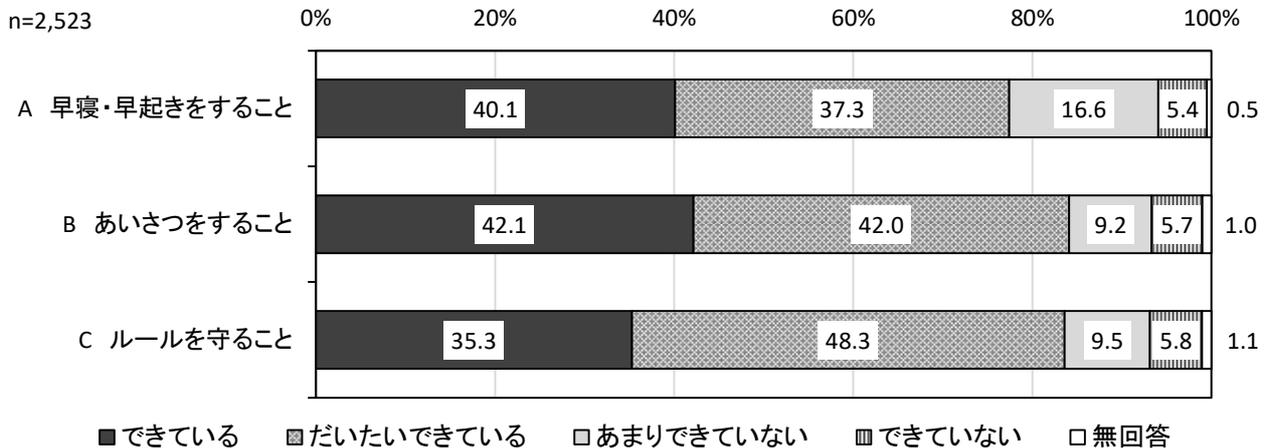


(24) あなたのお子さんは、次の事柄ができていますか。〈単一回答〉

【保護者：問 24】

お子さんがA～Cの事柄ができるかについては、すべての事柄で「できている」と「だいたいできている」を合わせた割合が8割前後となっています。

また、「あまりできていない」と「できていない」を合わせた『できていない』の割合をみると、[早寝・早起きをすること]が22.0%、[あいさつをすること]が14.9%、[ルールを守ること]が15.3%となっています。

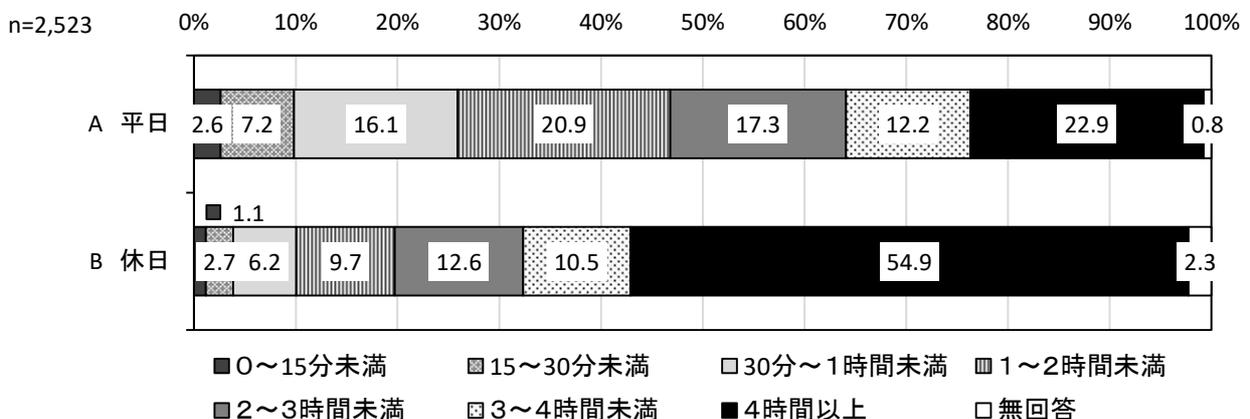


(25) あなたがお子さんと一緒に遊びや料理、会話等をする時間は1日あたりどのくらいですか。〈単一回答〉

【保護者：問 25】

お子さんと一緒に遊びや料理、会話等をする1日あたりの時間について、平日では「4時間以上」が22.9%で最も高く、次いで、「1～2時間未満」が20.9%、「2～3時間未満」が17.3%となっており、休日では「4時間以上」が54.9%で最も高く、次いで、「2～3時間未満」が12.6%、「3～4時間未満」が10.5%となっています。

また、「0～15分未満」と「15～30分未満」を合わせた『30分未満』の割合をみると、平日は9.8%、休日は3.8%となっています。

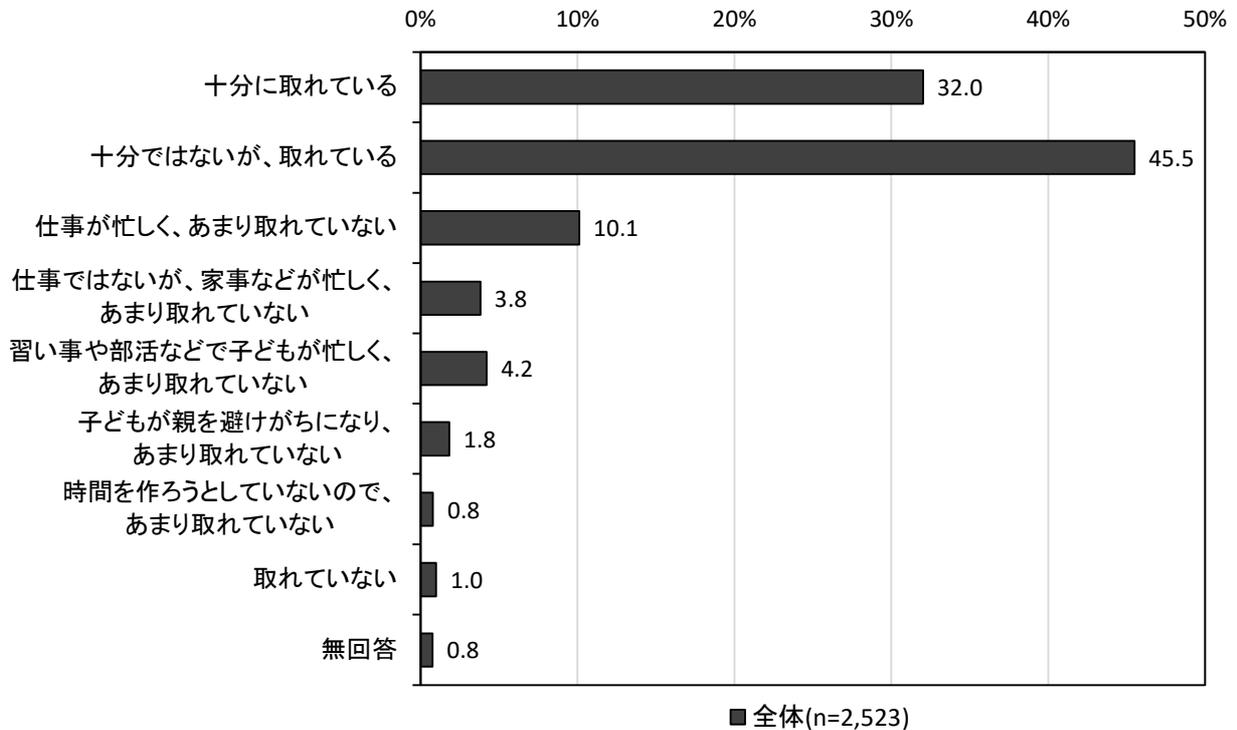


(26) ご家庭では、お子さんと一緒に過ごす時間が取れていると思いますか。〈単一回答〉

〔保護者：問 26〕

お子さんと一緒に過ごす時間が取れていると思うかについては、「十分ではないが、取れている」が45.5%で最も高く、次いで、「十分に取れている」が32.0%、「仕事が忙しく、あまり取れていない」が10.1%となっています。

また、「十分に取れている」と「十分ではないが、取れている」を除いた選択肢を合わせた『取れていない』は21.7%となっています。

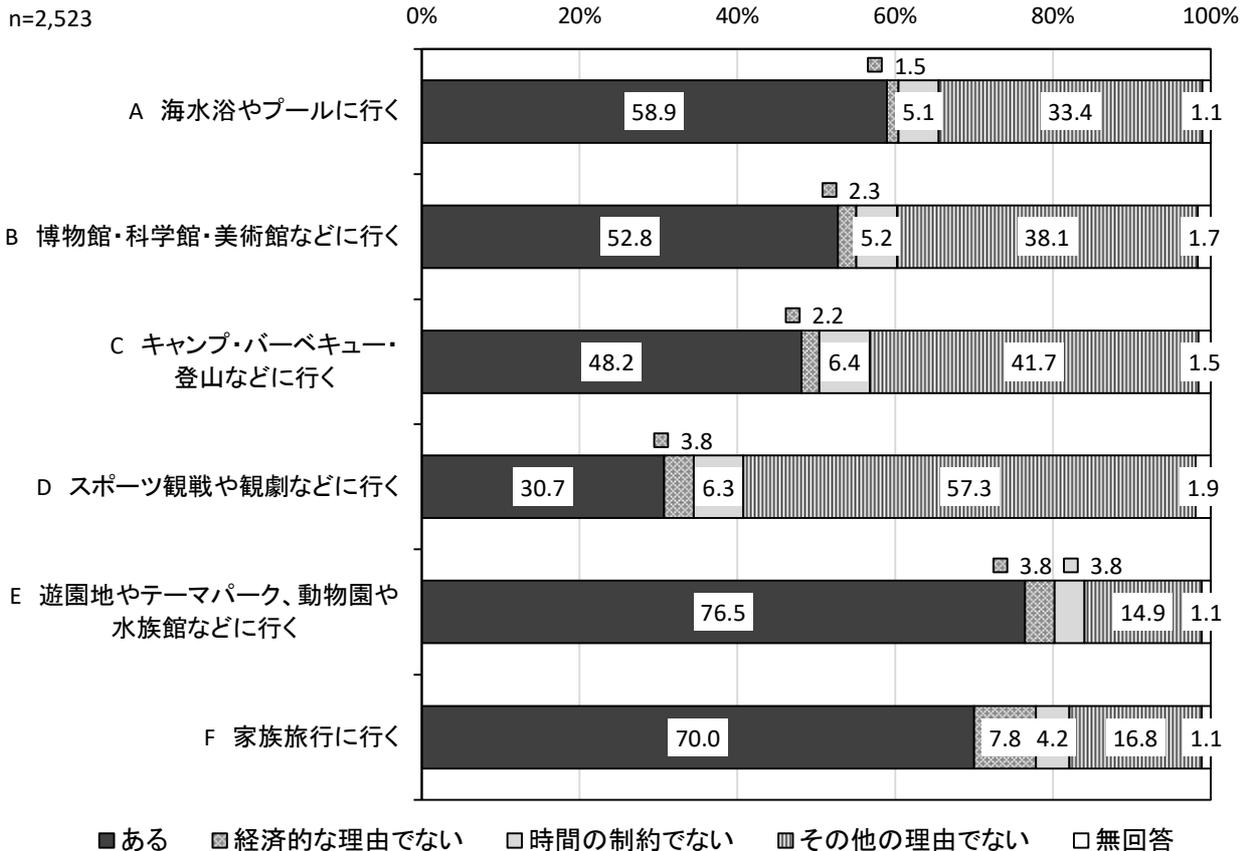


(27) あなたのご家庭では、お子さんと一緒に次のような体験をすることがありますか。〈単一回答〉

【保護者：問 27】

お子さんと一緒にA～Fのような体験をすることはあるかについて、「経済的な理由でない」の割合をみると、[家族旅行に行く]が7.8%で最も高く、次いで、[スポーツ観戦や観劇などに行く] [遊園地やテーマパーク、動物園や水族館などに行く]がそれぞれ3.8%、[博物館・科学館・美術館などに行く]が2.3%となっています。

また、「時間の制約でない」の割合をみると、[キャンプ・バーベキュー・登山などに行く]が6.4%で最も高く、次いで、[スポーツ観戦や観劇などに行く]が6.3%、[博物館・科学館・美術館などに行く]が5.2%となっています。

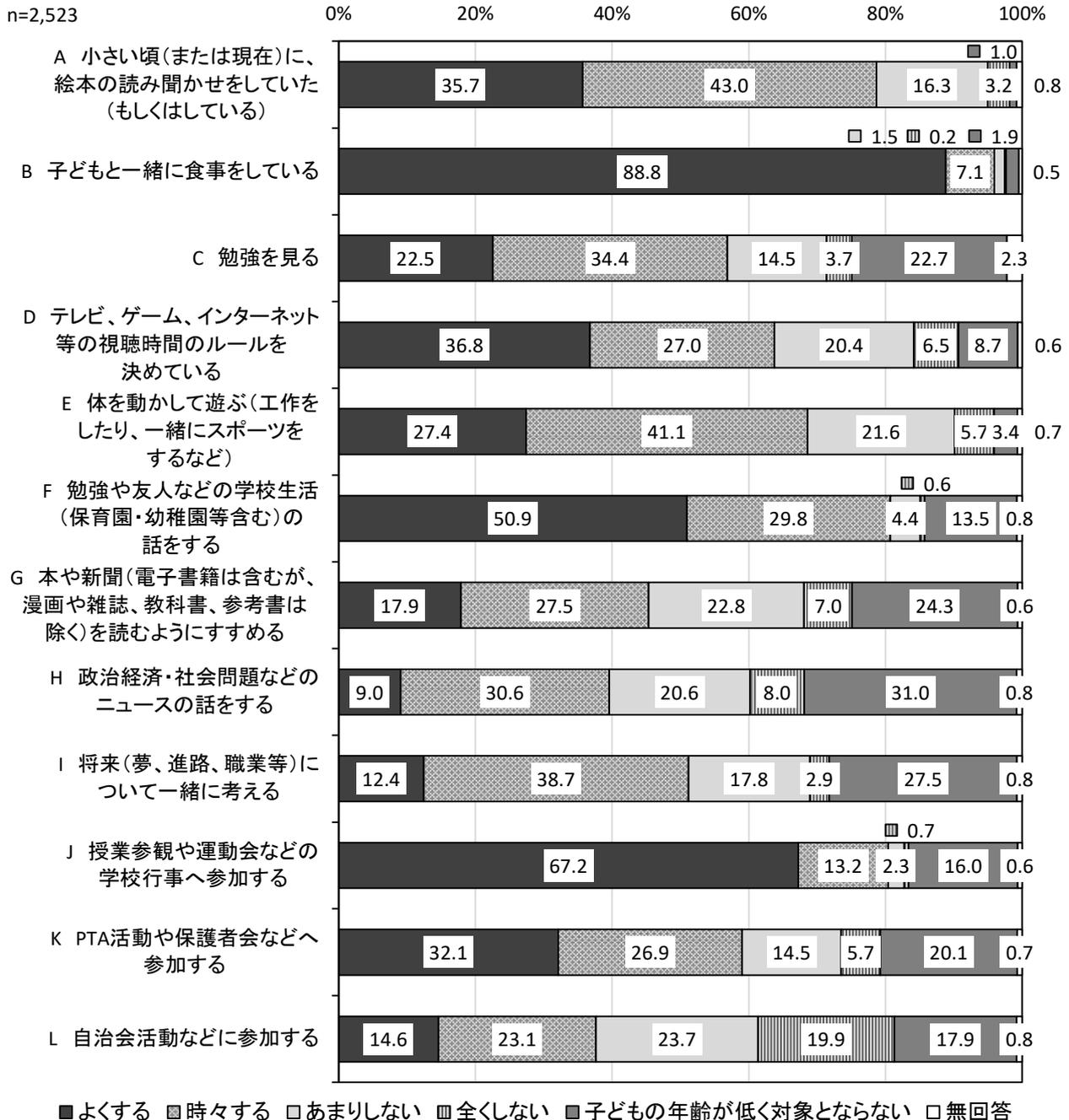


(28) あなたとお子さんの関わり方について、次のようなことにどれくらいあてはまりますか。

〈単一回答〉

【保護者：問 28】

回答者とお子さんの関わり方について、「あまりしない」と「全くしない」を合わせた『しない』の割合をみると、[自治会活動などに参加する]が43.6%で最も高く、次いで、[本や新聞（電子書籍は含むが、漫画や雑誌、教科書、参考書は除く）を読むようにすすめる]が29.8%、[政治経済・社会問題などのニュースの話をする]が28.6%となっています。

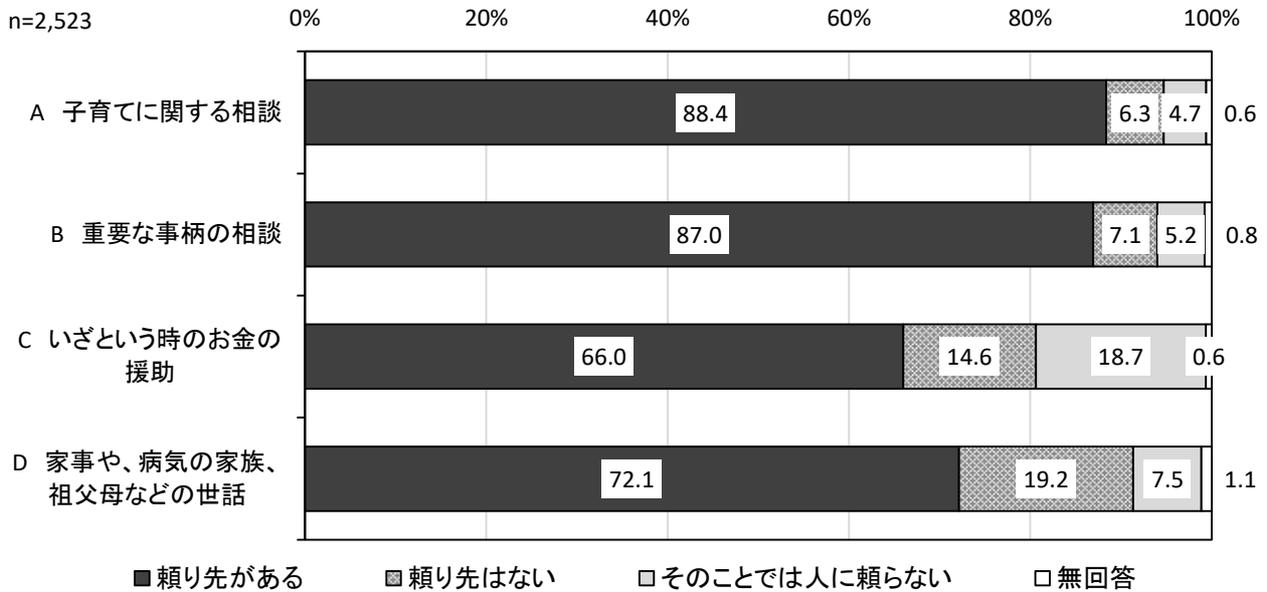


(29) あなたは次に挙げる事柄で頼れる相手はいますか。〈単一回答〉

〔保護者：問 29〕

A～Dの事柄で頼れる相手がいるかについては、すべての事柄において「頼り先がある」の割合が最も高くなっています。

また、「頼り先はない」の割合をみると、〔家事や、病気の家族、祖父母などの世話〕が19.2%で最も高く、次いで、〔いざという時のお金の援助〕が14.6%、〔重要な事柄の相談〕が7.1%となっています。

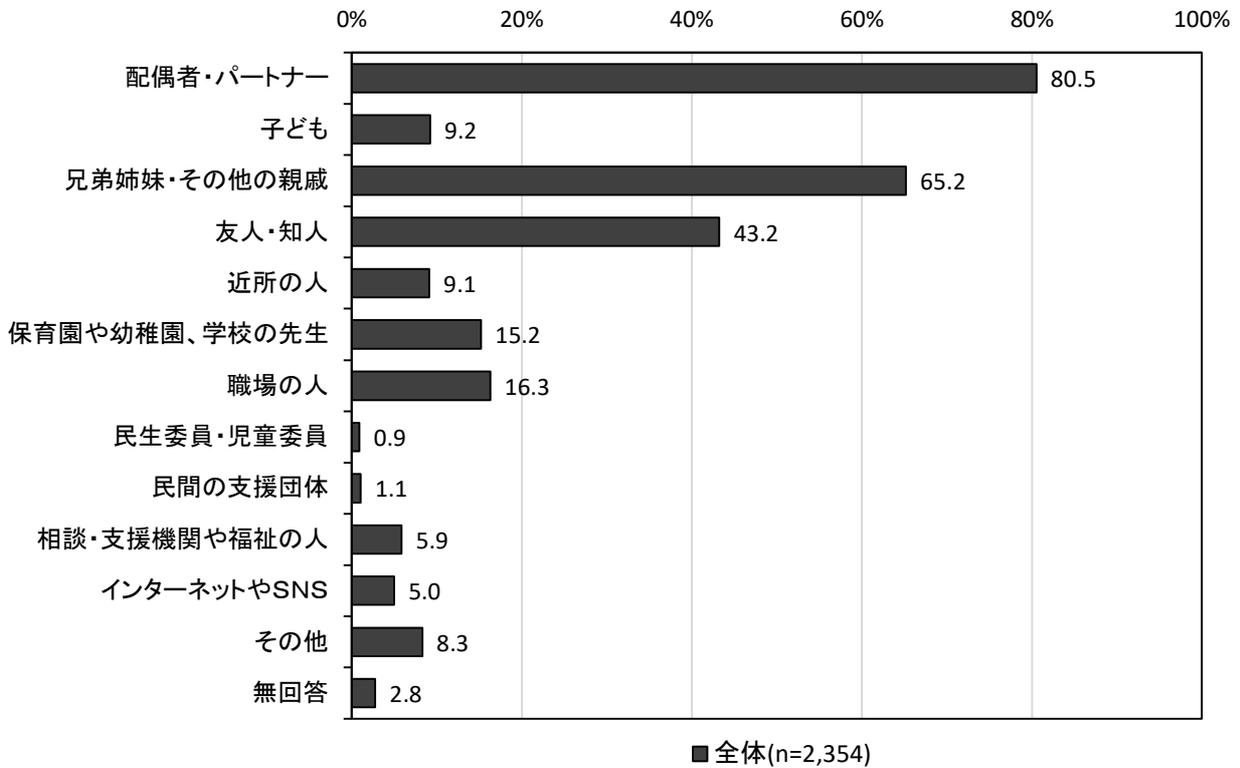


(29) のいずれかで「頼り先がある」を選んだ方にお聞きします。

(30) それはどのような方ですか。〈複数回答〉

【保護者：問 30】

(29) のA～Dの事柄に関する頼り先については、「配偶者・パートナー」が80.5%で最も高く、次いで、「兄弟姉妹・その他の親戚」が65.2%、「友人・知人」が43.2%となっています。

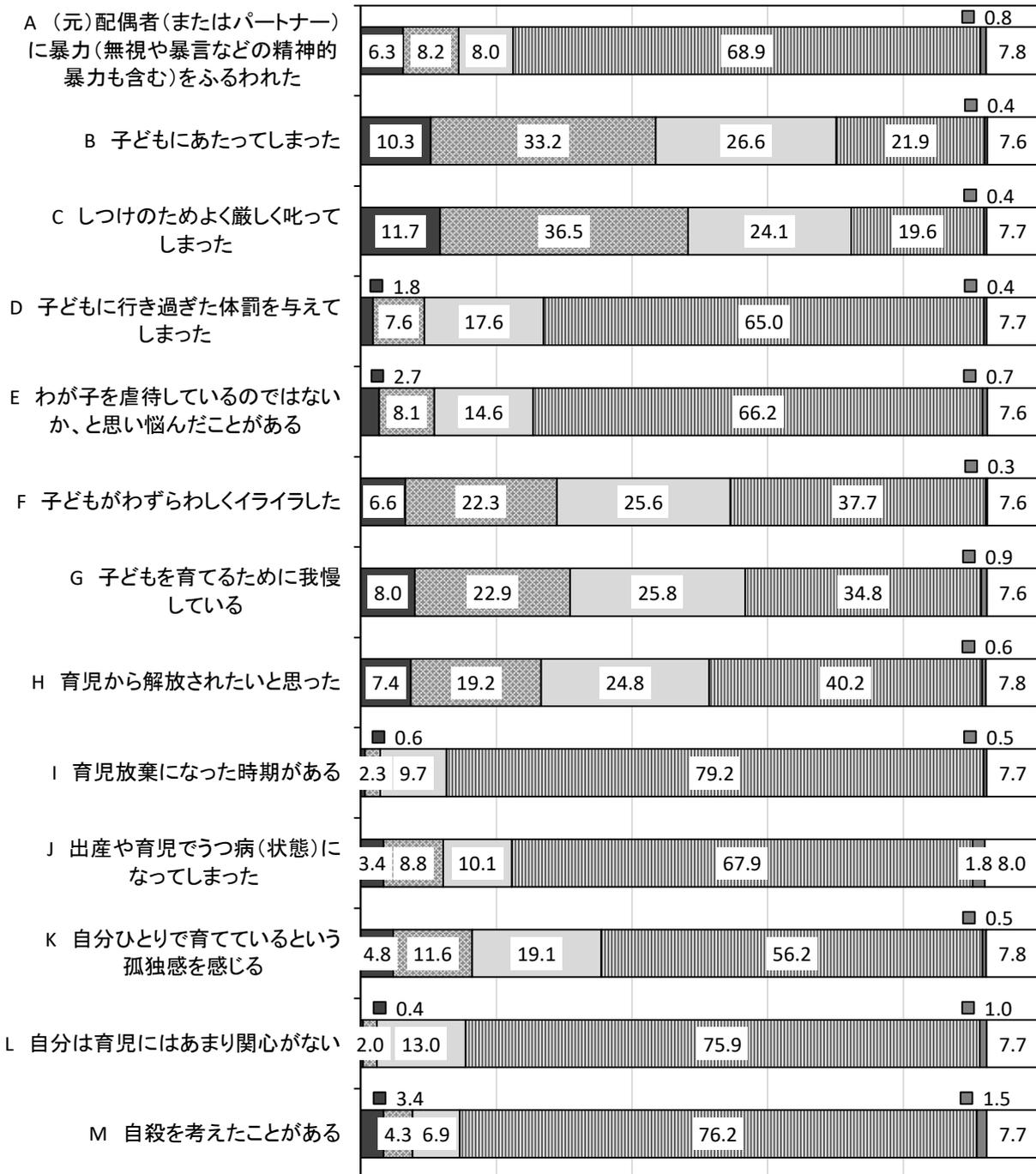


(31) これまでの子育ての中で、次のようなことがあったり、思ったりしたことはありますか。
 〈単一回答〉

【保護者：問31】

これまでの子育ての中でA～Mのようなことがあったり、思ったりしたことがあるかについて、「あてはまる」と「ややあてはまる」を合わせた『該当』の割合をみると、[しつけのためよく厳しく叱ってしまった]が48.2%で最も高く、次いで、[子どもにあたってしまった]が43.5%、[子どもを育てるために我慢している]が30.9%となっています。

n=2,523 0% 20% 40% 60% 80% 100%



■あてはまる ■ややあてはまる □あまりあてはまらない ■あてはまらない ■わからない □無回答

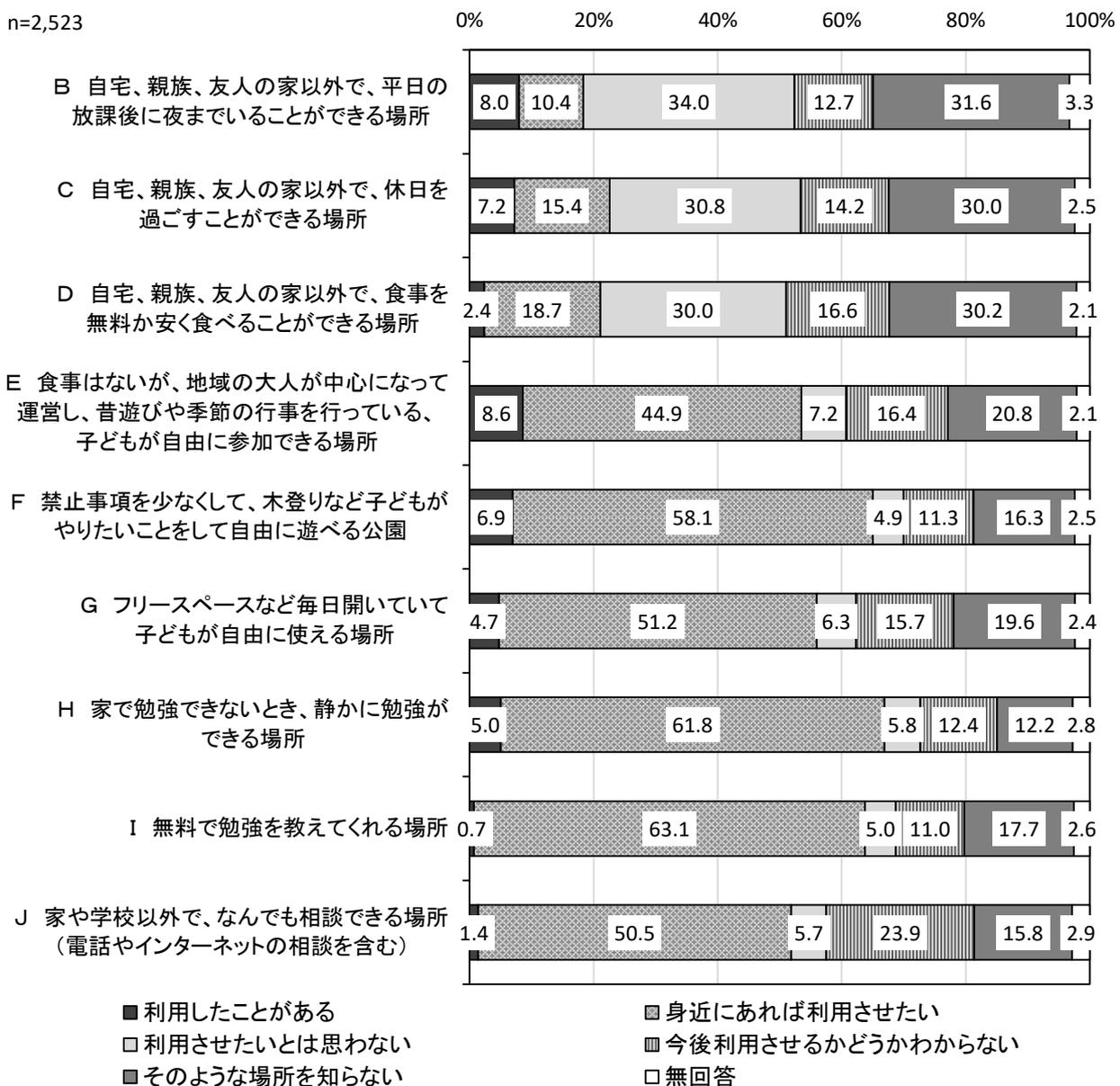
(32) あなたのお子さんは、次のような場所を利用したことがありますか。また、今まで利用したことがない場合、今後、利用させたいと思いますか。〈単一回答〉
 また、それぞれについて、子どもが過ごすことが望ましいと思うものについては、一番右の欄に○をつけてください。〈複数回答〉

【保護者：問 32】

B～Jの場所の利用経験や利用意向について、「利用したことがある」の割合をみると、[食事は無いが、地域の大人が中心になって運営し、昔遊びや季節の行事を行っている、子どもが自由に参加できる場所]が8.6%で最も高く、次いで、[自宅、親族、友人の家以外で、平日の放課後に夜までいることができる場所]が8.0%、[自宅、親族、友人の家以外で、休日を通過ごすことができる場所]が7.2%となっています。

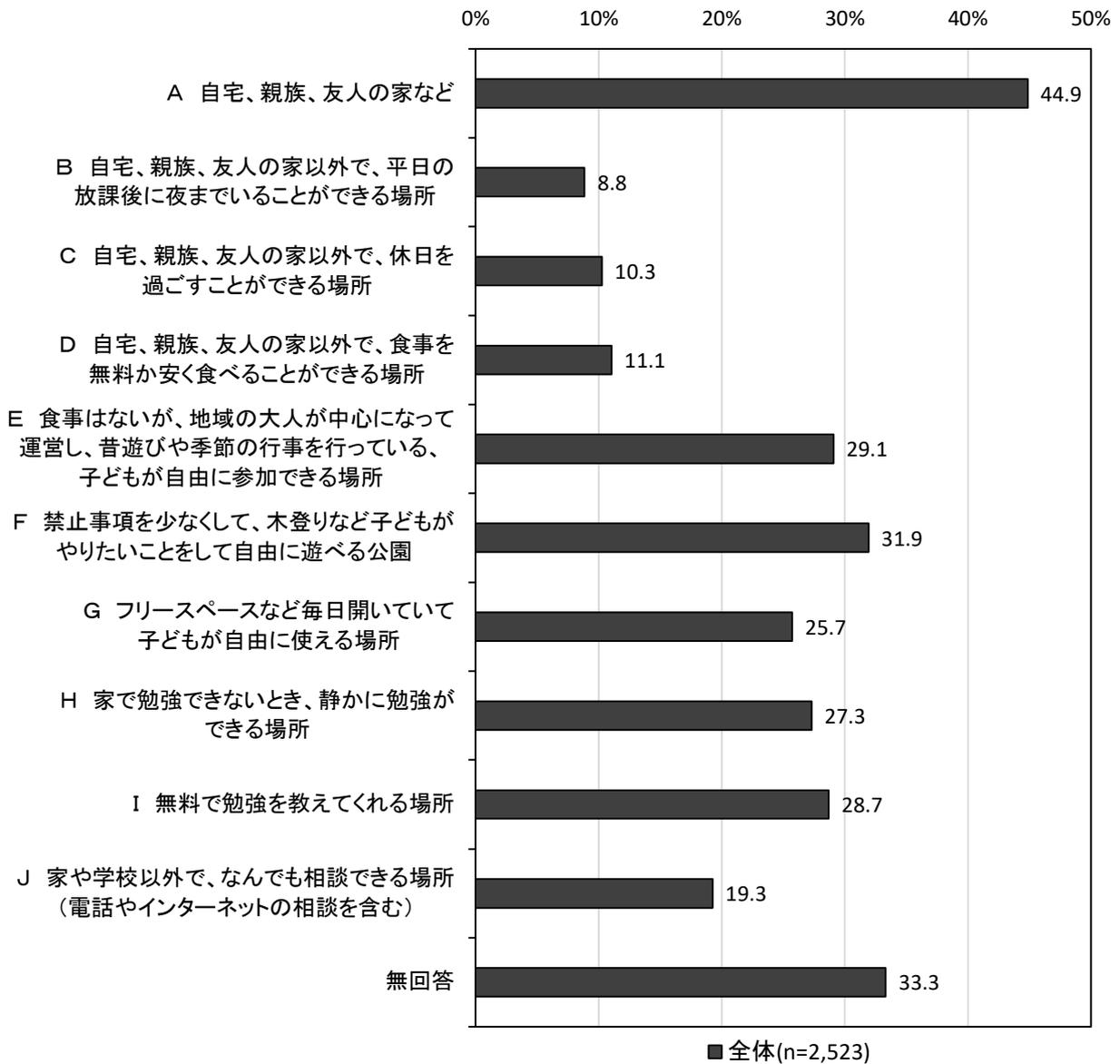
また、「身近にあれば利用させたい」の割合をみると、[無料で勉強を教えてくれる場所]が63.1%で最も高く、次いで、[家で勉強できないとき、静かに勉強ができる場所]が61.8%、[禁止事項を少なくして、木登りなど子どもがやりたいことをして自由に遊べる公園]が58.1%となっています。

n=2,523



子どもが過ごすことが望ましいと思う場所

A～Jの場所のうち、子どもが過ごすことが望ましいと思う場所については、「自宅、親族、友人の家など」が44.9%で最も高く、次いで、「禁止事項を少なくして、木登りなど子どもがやりたいことをして自由に遊べる公園」が31.9%、「食事はないが、地域の大人が中心になって運営し、昔遊びや季節の行事を行っている、子どもが自由に参加できる場所」が29.1%となっています。



(32) でB~Jのいずれかで「利用したことがある」を選んだ方にお聞きします。

(33) 利用したことがある施設や場所の名称を記入してください。〈記述式〉

【保護者：問 33】

利用したことがある施設や場所については、保育園の延長保育・放課後児童クラブ・放課後子ども教室等が 22.8%で最も高く、次いで、塾の自習室・図書館等が 19.2%、公園等が 17.2%、子ども食堂・公民館・子ども会等のいわゆる地域における子どもの居場所が 16.6%となっています。地域における子どもの居場所の中には市外の児童館も含まれています。

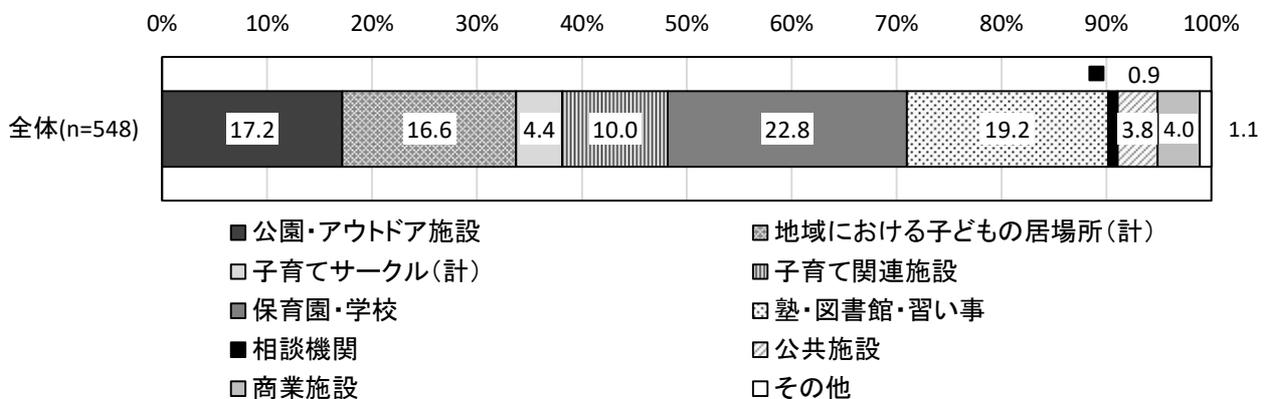
放課後児童クラブや放課後子ども教室、地域における子どもの居場所は、市が、小学校区を基準に、学校を中心とした見守り拠点づくりを進めてきた成果として利用が定着しています。放課後児童クラブや放課後子ども教室の利用者は、川西地区で多くなっています。

川東地区では地域における子どもの居場所、子育てに関連する活動を行っている施設の利用が多くなっており、よく使う施設として子育て支援活動が盛んにおこなわれているマロニエが挙げられています。

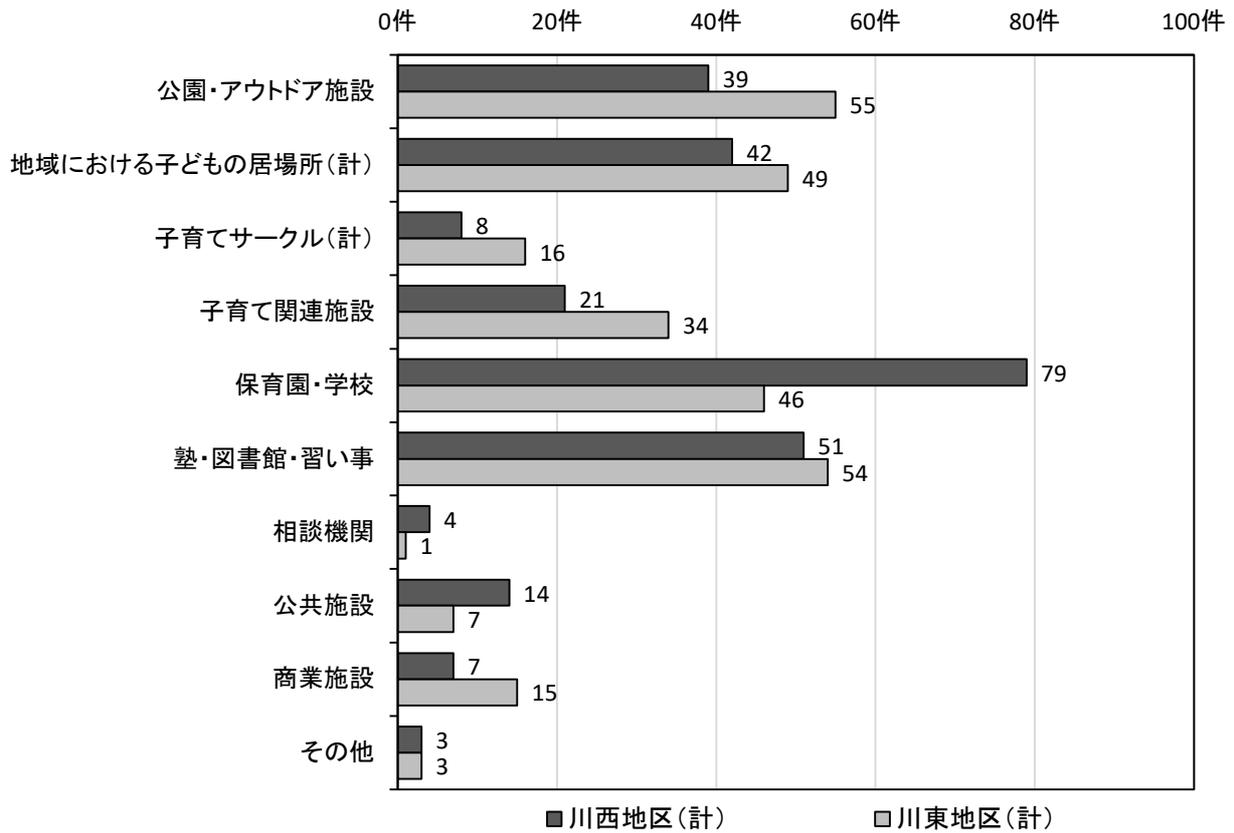
塾の自習室や図書館を使っている子どもは、地区を問わず、中学生を中心に高くなっています。図書館では、中央図書館や東口図書館、マロニエ図書室など、地区を問わず、身近な学習スペースとして利用されています。

公園は、上府中公園や富士見公園等、子どもの遊びに適した公園が身近にあることから川東地区の利用が多くなっています。プレイパークの利用は学齢や地区に関わらず一定数上がっています。

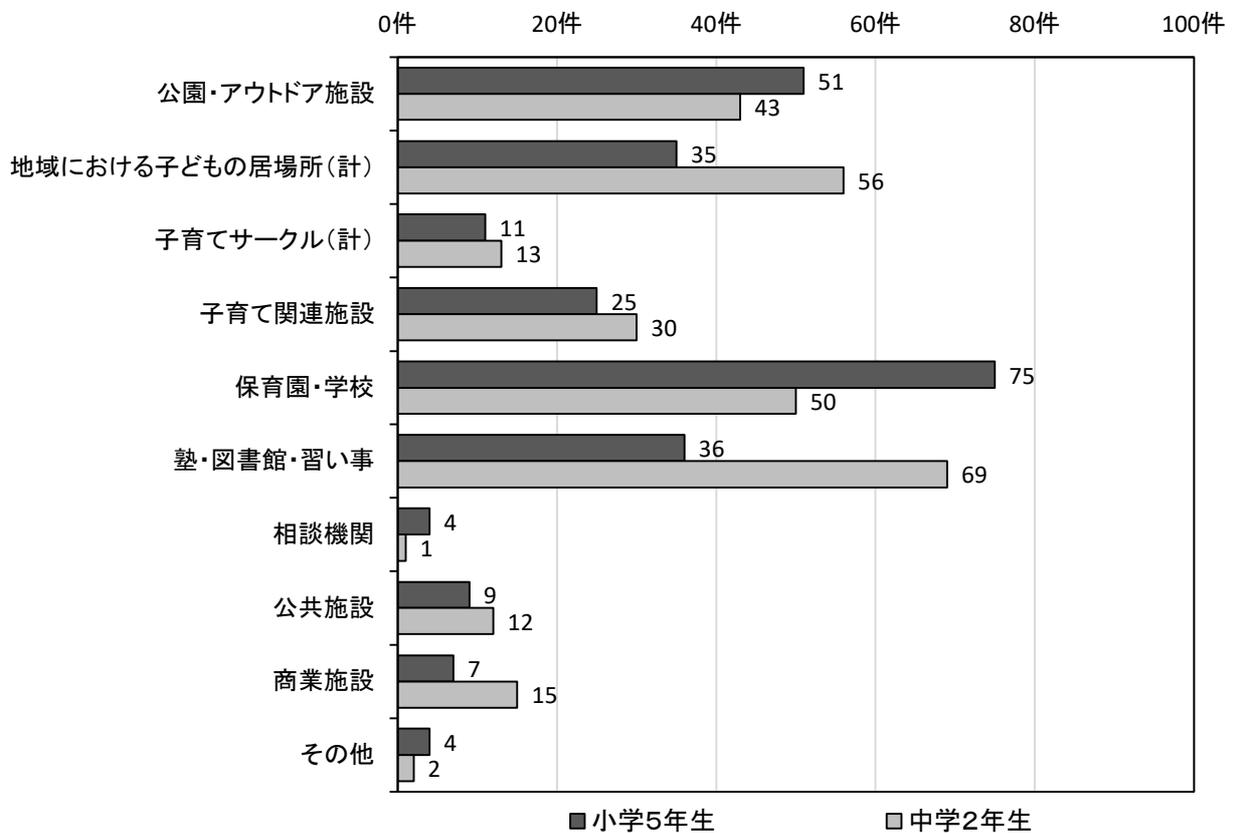
カラオケやゲームセンター、映画館、ボーリング等の商業施設の利用は、小学生も中学生も川東地区で多くなっています。



■居住地区別



■調査対象別



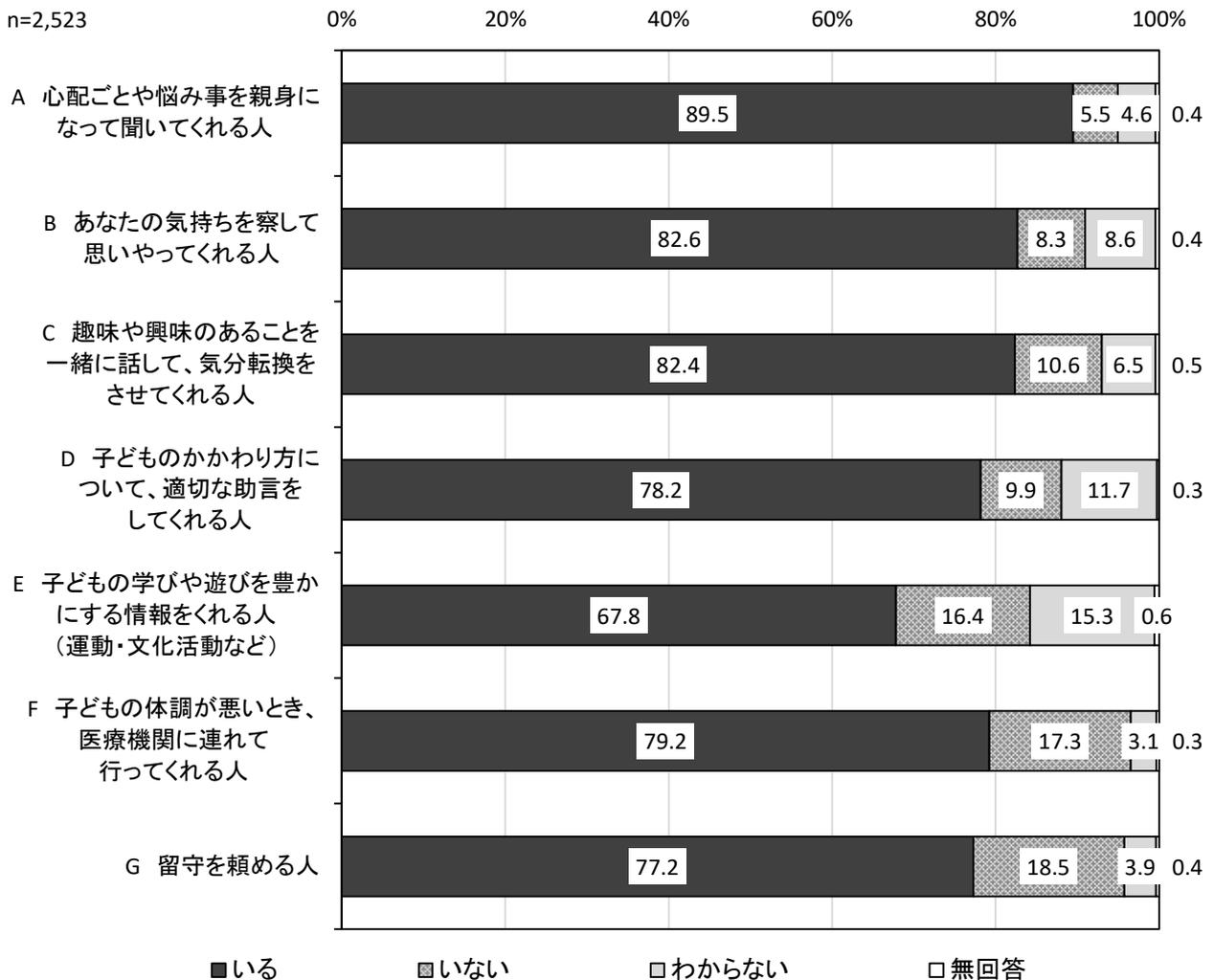
(34) 同居している方を含め（子どもは除く）、あなたを支えてくれて、手伝ってくれる人はいますか。次の項目について教えてください。〈単一回答〉

【保護者：問 34】

A～Gの項目において支えてくれて手伝ってくれる人がいるかについては、すべての項目において「いる」の割合が最も高くなっています。

また、「いない」の割合をみると、[留守を頼める人]が18.5%で最も高く、次いで、[子どもの体調が悪いとき、医療機関に連れて行ってくれる人]が17.3%、[子どもの学びや遊びを豊かにする情報をくれる人（運動・文化活動など）]が16.4%となっています。

n=2,523



6. お子さんの将来のことについて

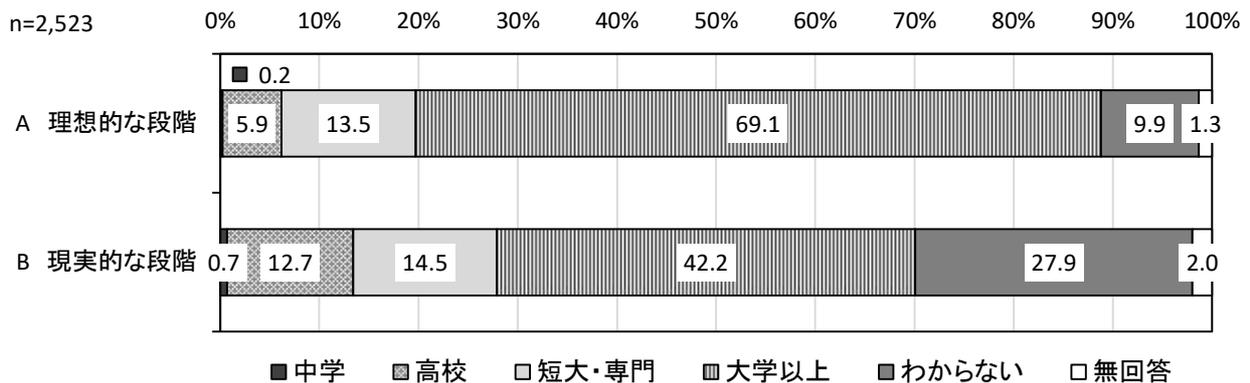
(35) お子さんは将来、どの段階まで進学すると思いますか。〈単一回答〉

【保護者：問 35】

お子さんの進学に関する理想的な段階については、「大学以上」が 69.1%で最も高く、次いで、「短大・専門」が 13.5%、「わからない」が 9.9%となっています。

また、現実的な段階については、「大学以上」が 42.2%で最も高く、次いで、「わからない」が 27.9%、「短大・専門」が 14.5%となっています。

「大学以上」の割合をみると、理想的な段階に対して現実的な段階は、26.9ポイント低くなっています。

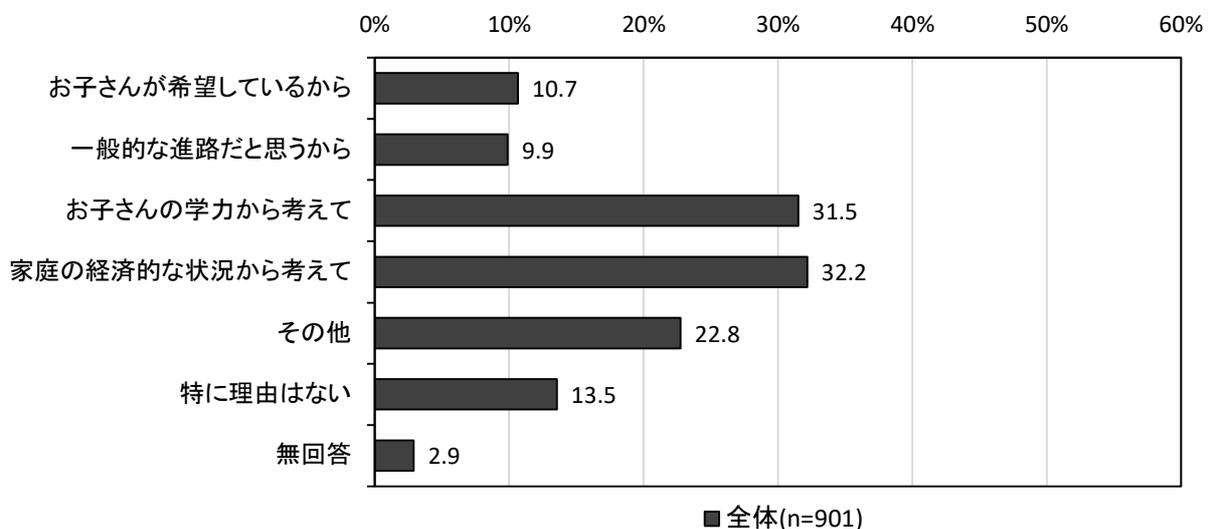


(35) で「A 理想的な段階」と「B 現実的な段階」に違いがある方にお聞きします。

(36) その理由は何ですか。〈複数回答〉

【保護者：問 36】

お子さんの進学に関して理想的な段階と現実的な段階に違いがある理由については、「家庭の経済的な状況から考えて」が 32.2%で最も高く、次いで、「お子さんの学力から考えて」が 31.5%、「その他」が 22.8%となっています。



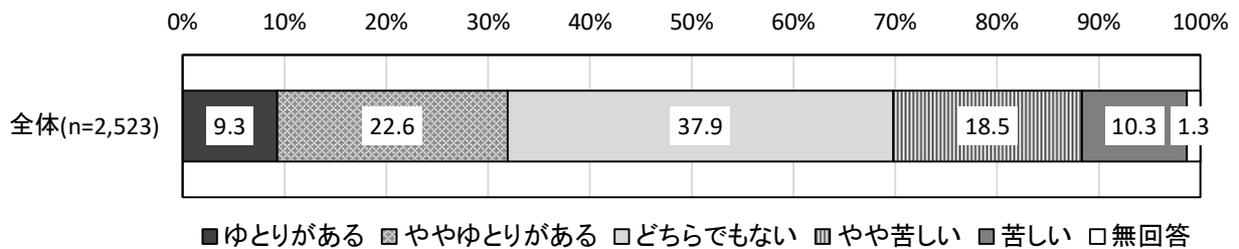
7. あなたのご家庭での生活や家計について

(37) あなたは、現在の生活をどのように感じていますか。〈単一回答〉

【保護者：問 37】

現在の生活の感じ方については、「どちらでもない」が37.9%で最も高く、次いで、「ややゆとりがある」が22.6%、「やや苦しい」が18.5%となっています。

なお、「ゆとりがある」と「ややゆとりがある」を合わせた『ゆとりあり』は31.9%なのに対し、「やや苦しい」と「苦しい」を合わせた『ゆとりなし』は28.8%となっています。

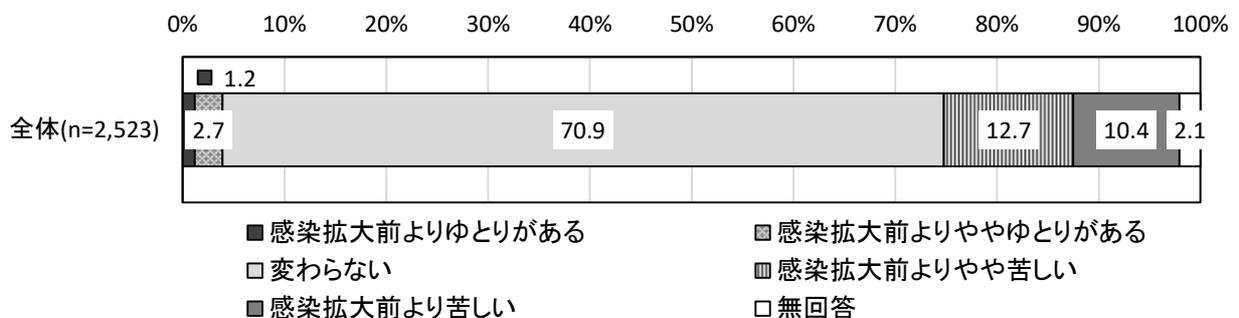


(38) 問 37 (37) で答えた現在の生活の感じ方は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大前（令和2年3月以前）と後で、感じ方は変わりましたか。〈単一回答〉

【保護者：問 38】

新型コロナウイルス感染症の感染拡大前と後での生活の感じ方の変化については、「変わらない」が70.9%で最も高く、次いで、「感染拡大前よりやや苦しい」が12.7%、「感染拡大前より苦しい」が10.4%となっています。

なお、「感染拡大前よりゆとりがある」と「感染拡大前よりややゆとりがある」を合わせた『感染拡大前よりゆとりあり』は3.9%なのに対し、「感染拡大前よりやや苦しい」と「感染拡大前より苦しい」を合わせた『感染拡大前よりゆとりなし』は23.1%となっています。

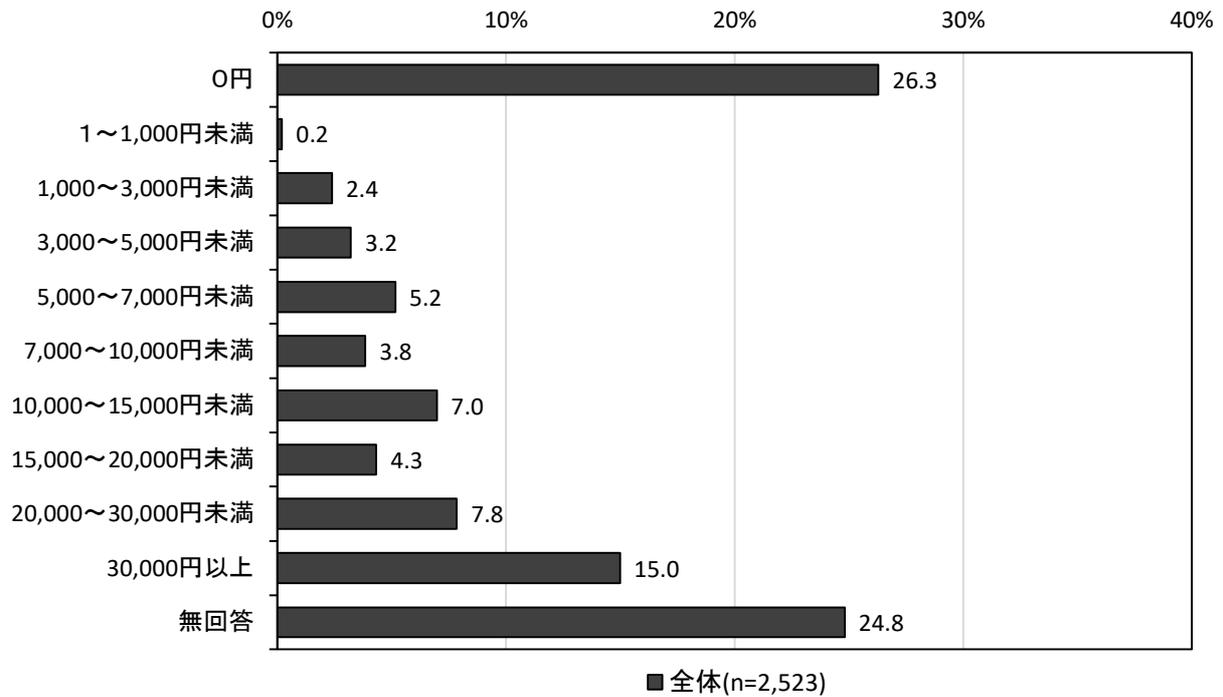


(39) お子さんの生活費や学費についてお聞きします。次の項目の費用は、毎月いくらかかっていますか。1か月あたりの平均的な金額を数字で記入してください。〈記述式〉
 ※調査対象のお子さんにかかる費用を記入

[保護者：問 39]

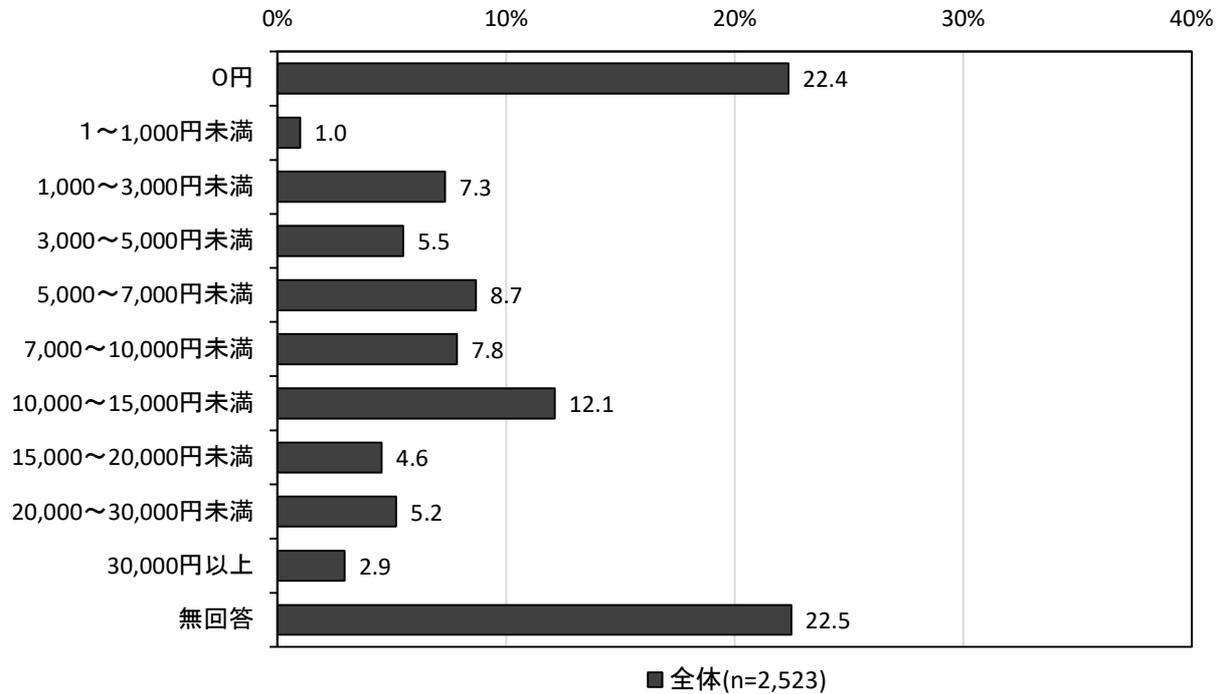
A 塾など、学校外でかかる教育費

塾など、学校外でかかる教育費の1か月あたりの平均金額については、「0円」が26.3%で最も高く、次いで、「30,000円以上」が15.0%、「20,000～30,000円未満」が7.8%となっています。



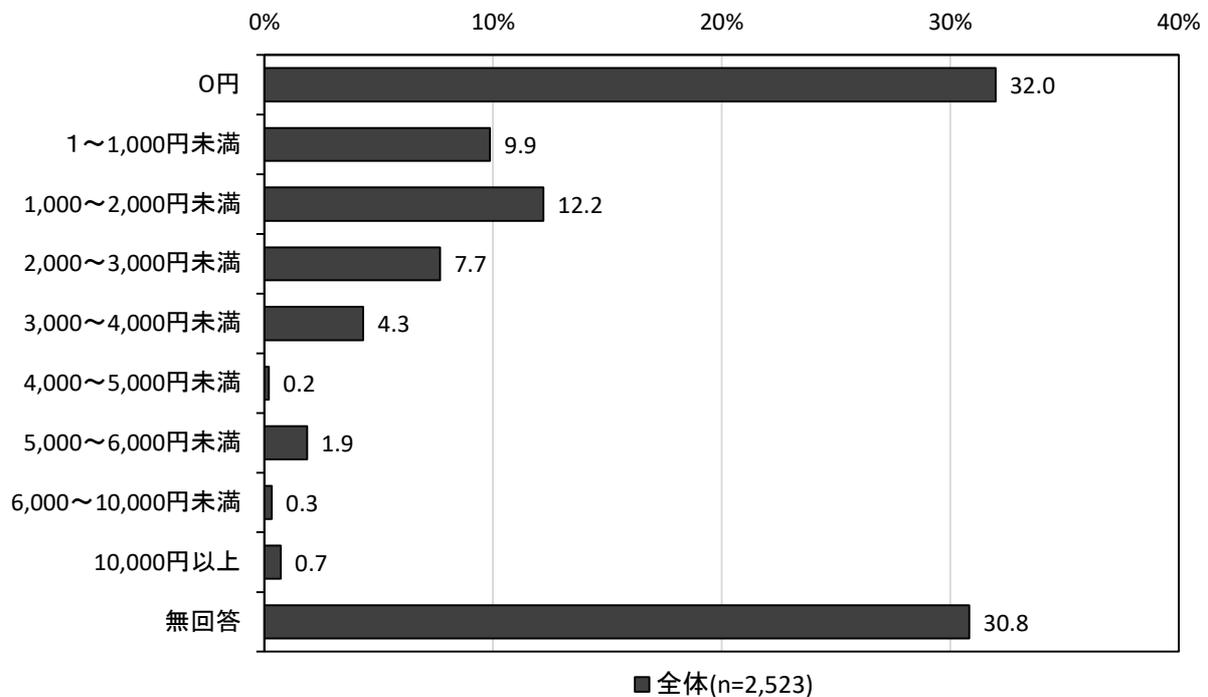
B 習い事・スポーツクラブ・部活

習い事・スポーツクラブ・部活にかかる1か月あたりの平均金額については、「0円」が22.4%で最も高く、次いで、「10,000～15,000円未満」が12.1%、「5,000～7,000円未満」が8.7%となっています。



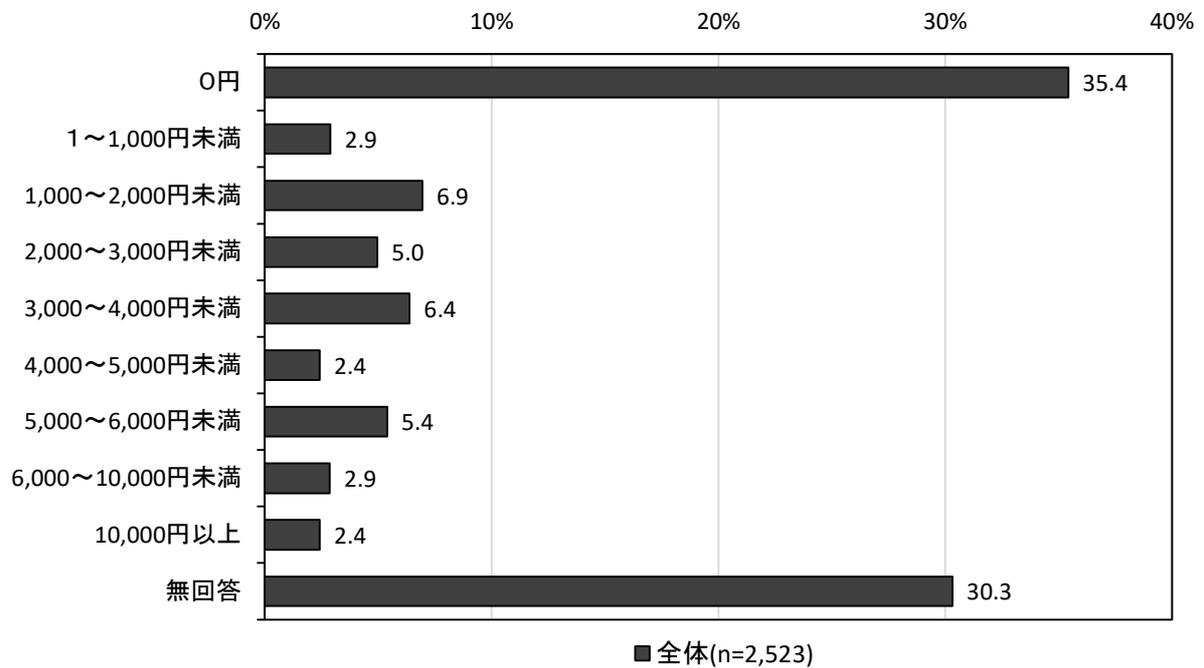
C お小遣い

お小遣いの1か月あたりの平均金額については、「0円」が32.0%で最も高く、次いで、「1,000～2,000円未満」が12.2%、「1～1,000円未満」が9.9%となっています。



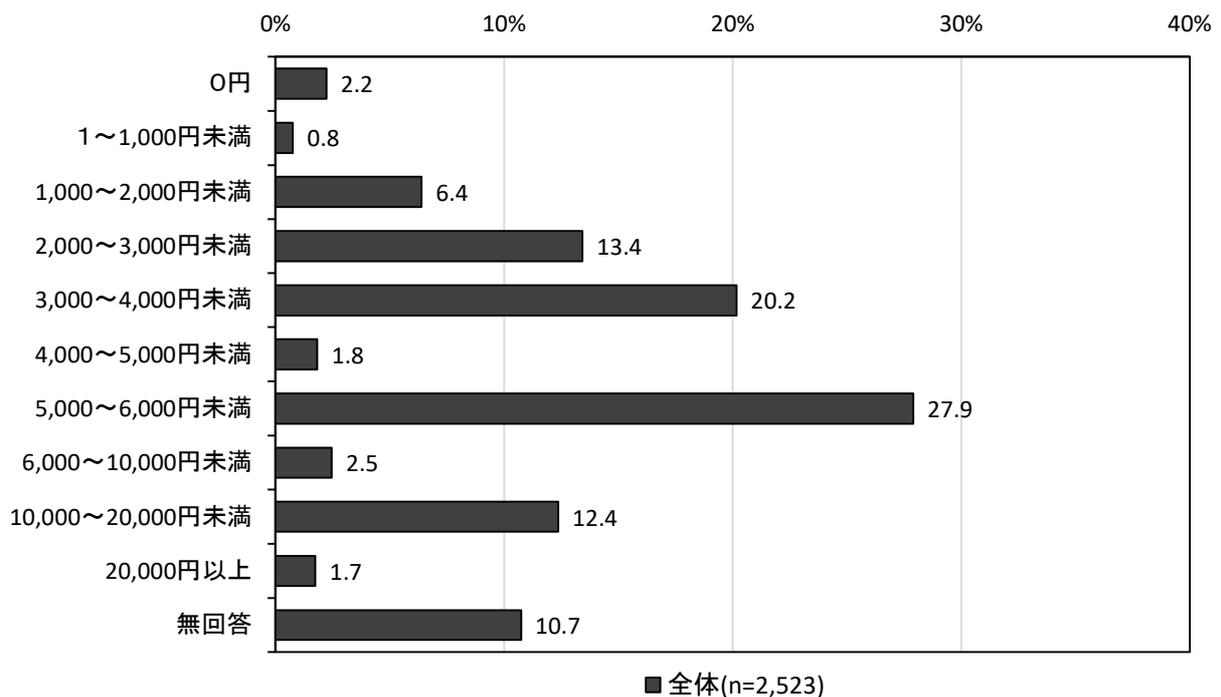
D お子さんの携帯・スマートフォンの代金

お子さんの携帯・スマートフォンにかかる代金の1か月あたりの平均金額については、「0円」が35.4%で最も高く、次いで、「1,000～2,000円未満」が6.9%、「3,000～4,000円未満」が6.4%となっています。



E お子さんの服・靴

お子さんの服・靴にかかる1か月あたりの平均金額については、「5,000～6,000円未満」が27.9%で最も高く、次いで、「3,000～4,000円未満」が20.2%、「2,000～3,000円未満」が13.4%となっています。

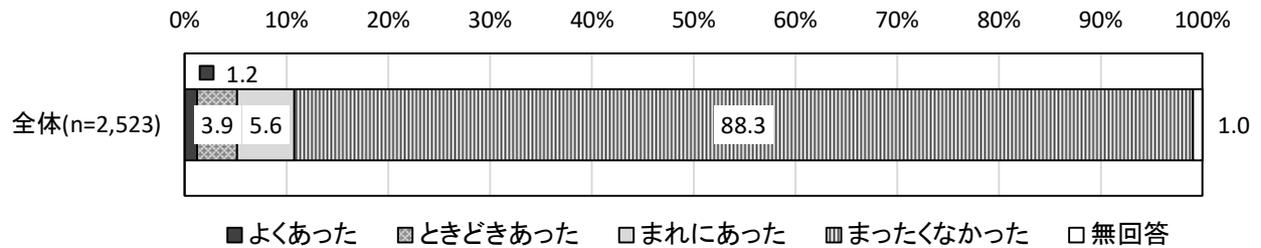


(40) あなたの世帯では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする食料が買えないことがありましたか。〈単一回答〉

【保護者：問40】

過去1年間に、お金が足りなくて、家族が必要とする食料が買えないことがあったかについては、「まったくなかった」が88.3%で最も高く、次いで、「まれにあった」が5.6%、「ときどきあった」が3.9%となっています。

なお、「よくあった」「ときどきあった」「まれにあった」を合わせた『あった』は10.7%となっています。

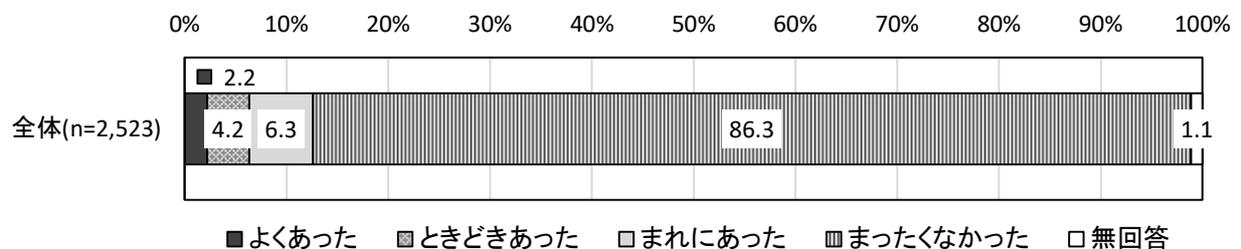


(41) あなたの世帯では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする衣服が買えないことがありましたか。ただし、高価な衣服や貴金属・宝飾品は含みません。〈単一回答〉

【保護者：問41】

過去1年間に、お金が足りなくて、家族が必要とする衣服が買えないことがあったかについては、「まったくなかった」が86.3%で最も高く、次いで、「まれにあった」が6.3%、「ときどきあった」が4.2%となっています。

なお、「よくあった」「ときどきあった」「まれにあった」を合わせた『あった』は12.7%となっています。

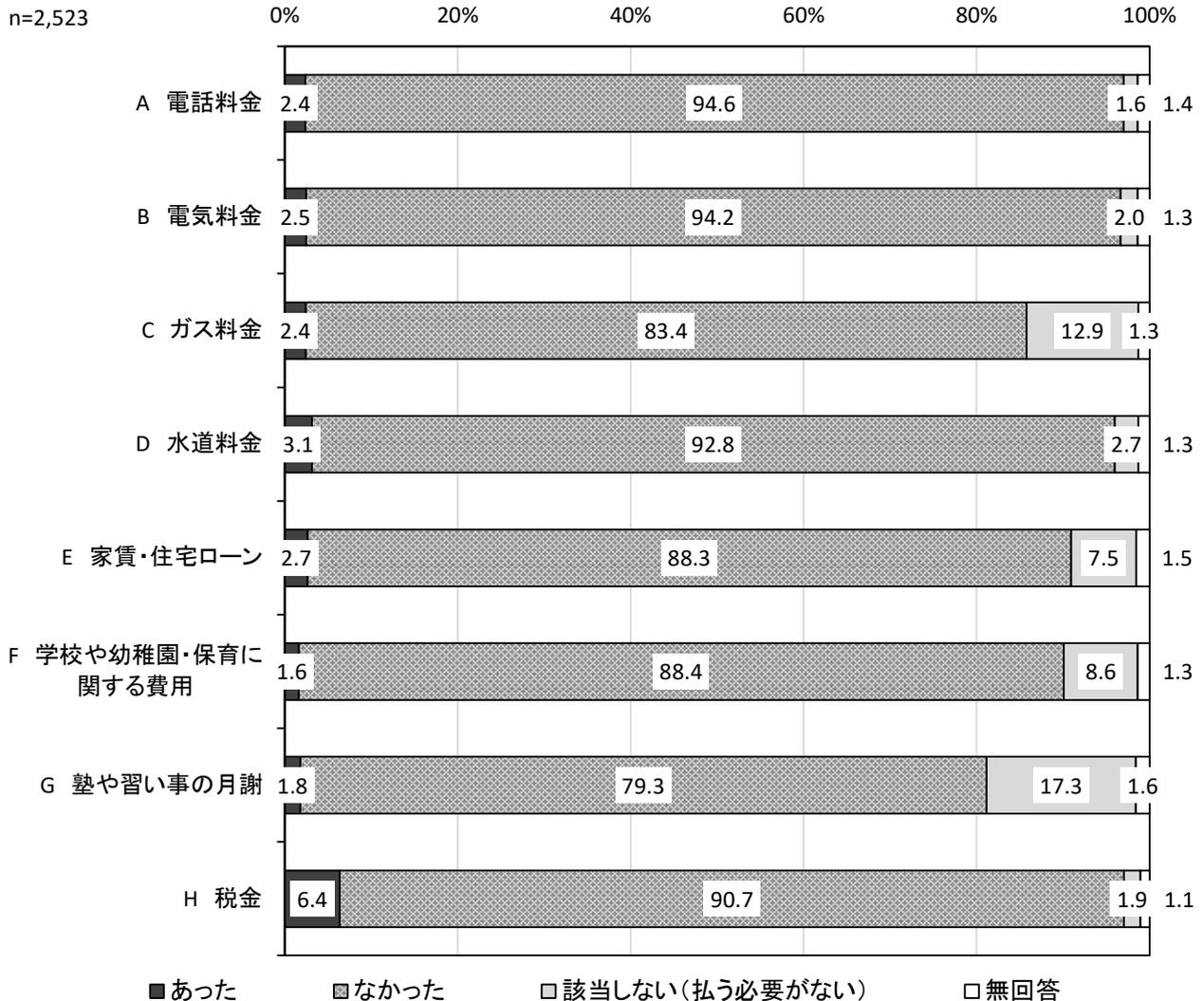


(42) あなたの世帯では、過去1年の間に、次の料金について、経済的な理由で未払いになったことがありましたか。〈単一回答〉

【保護者：問42】

過去1年間に、A～Hの料金が経済的な理由で未払いになった経験の有無については、すべての項目において「なかった」の割合が最も高くなっています。

また、「あった」の割合をみると、[税金]が6.4%で最も高く、次いで、[水道料金]が3.1%、[家賃・住宅ローン]が2.7%となっています。

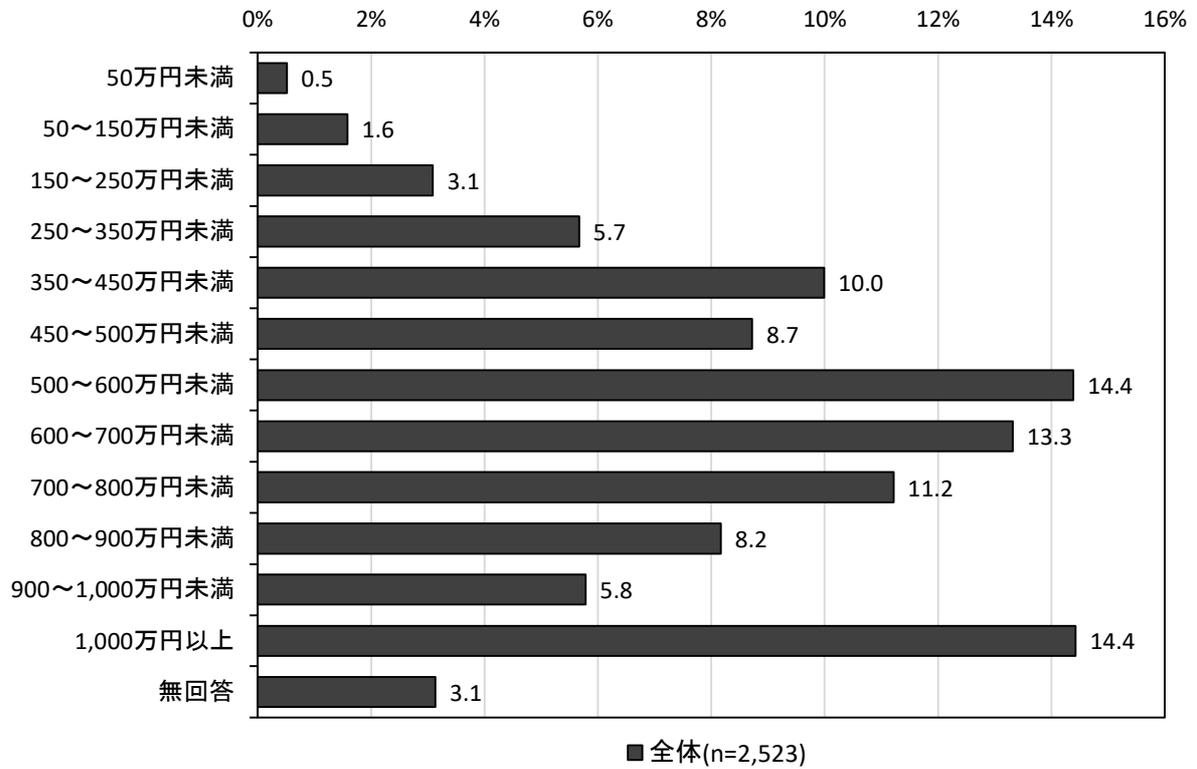


(43) 世帯全体のおおよその年間収入（税込）はいくらですか。〈単一回答〉

【保護者：問 43】

世帯全体のおおよその年間収入については、「500～600 万円未満」「1,000 万円以上」がそれぞれ 14.4%で最も高く、次いで、「600～700 万円未満」が 13.3%、「700～800 万円未満」が 11.2%となっています。

なお、『250 万円未満』は 5.2%となっています。



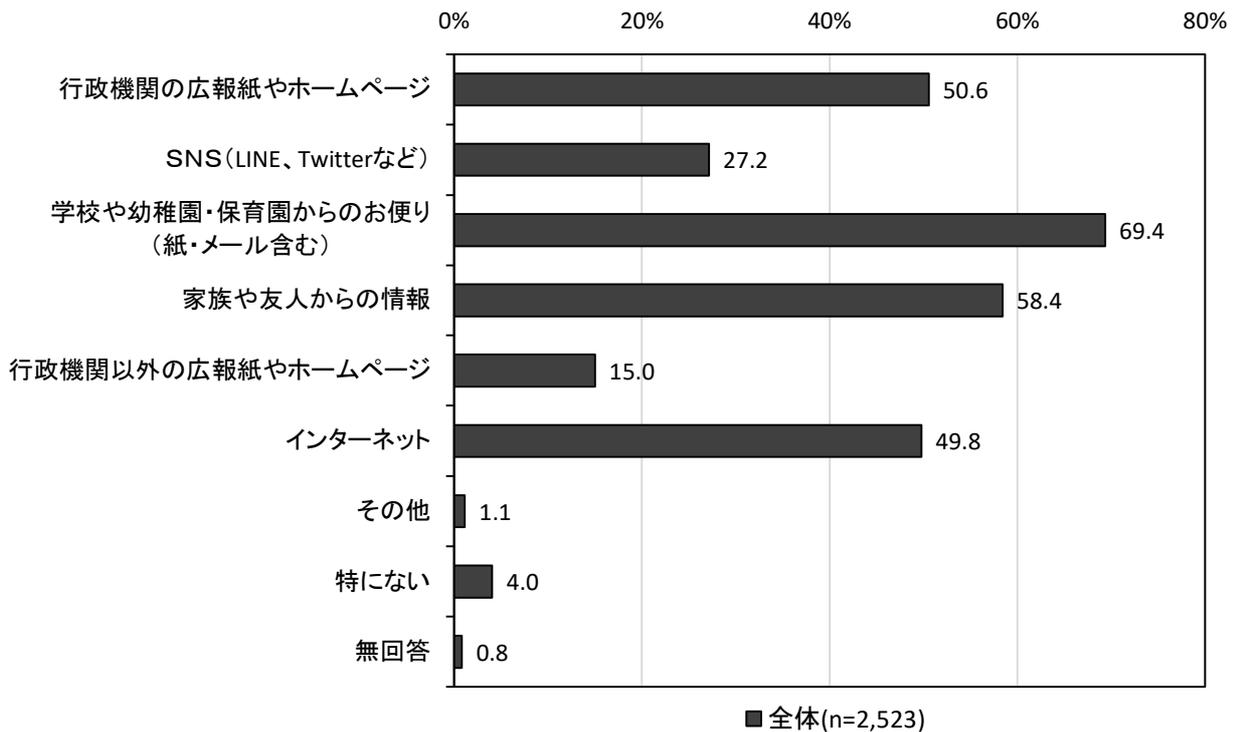
8. 子育てや家庭教育への支援について

(44) あなたは、子どもに関する制度・サービスの情報をどのような方法で取得していますか。
 〈複数回答〉

【保護者：問 44】

子どもに関する制度・サービスの情報取得方法については、「学校や幼稚園・保育園からのお便り（紙・メール含む）」が69.4%で最も高く、次いで、「家族や友人からの情報」が58.4%、「行政機関の広報紙やホームページ」が50.6%となっています。

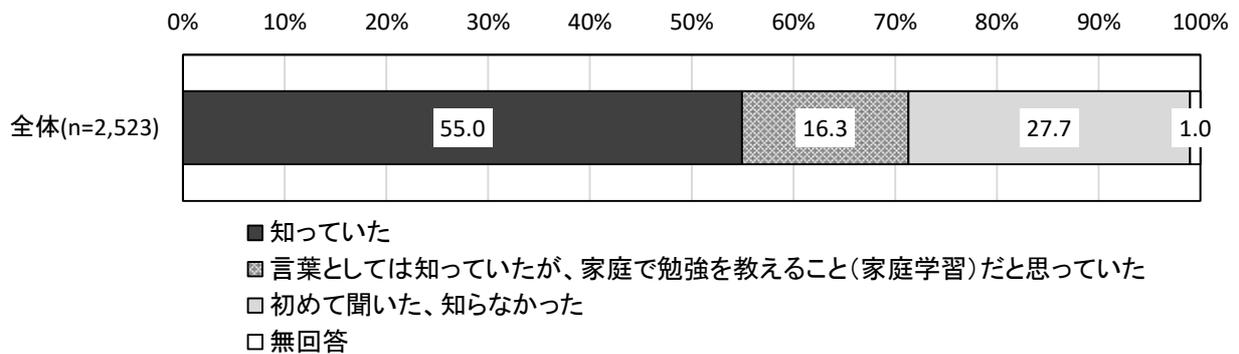
なお、「特にない」は4.0%となっています。



(45)「家庭教育」は、保護者が子どもに行う教育であり、家族のふれ合いを通して、子どもが基本的な生活習慣や生活能力、人への信頼感や思いやり、基本的倫理観、自尊心や自立心、社会的なマナーなどを身につけていく上で、重要な役割を果たしていますが、その意味を知っていましたか。
 〈単一回答〉

【保護者：問 45】

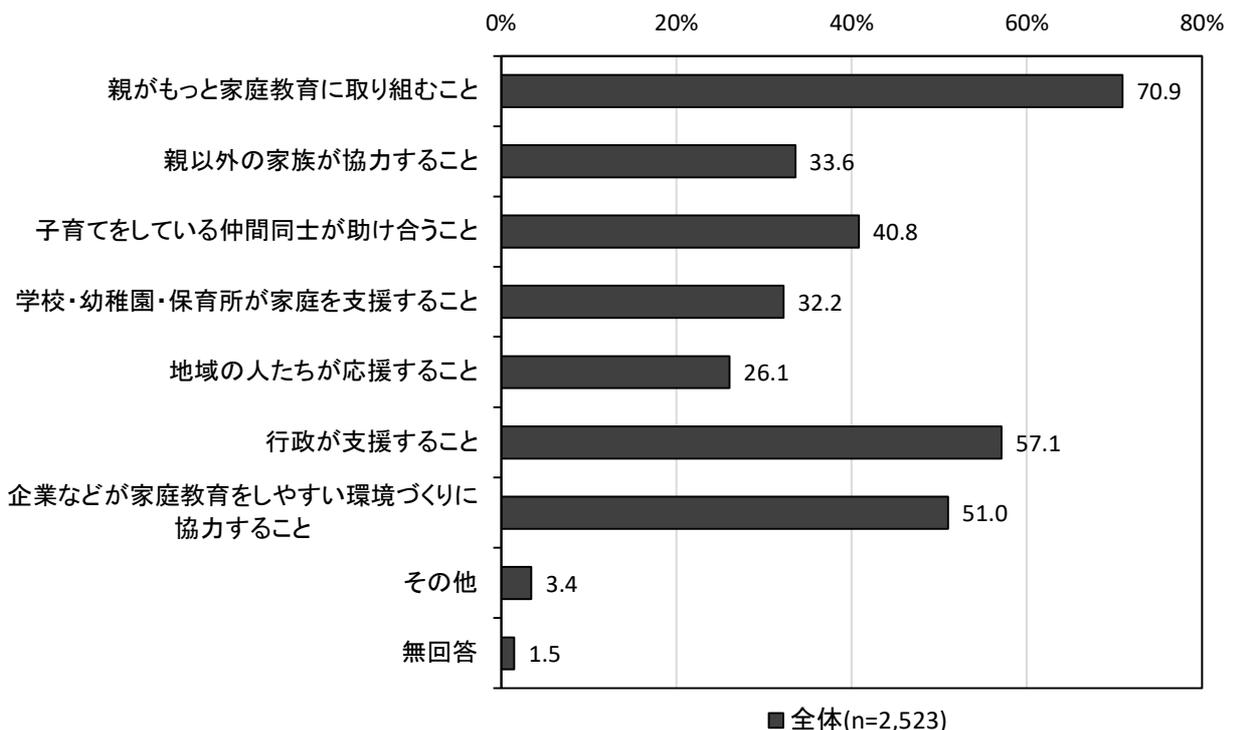
家庭教育の意味の認知度については、「知っていた」が55.0%で最も高く、次いで、「初めて聞いた、知らなかった」が27.7%、「言葉としては知っていたが、家庭で勉強を教えること（家庭学習）だと思っていた」が16.3%となっています。



(46) 家庭教育の充実のために必要なものは何だと思いますか。〈複数回答〉

【保護者：問 46】

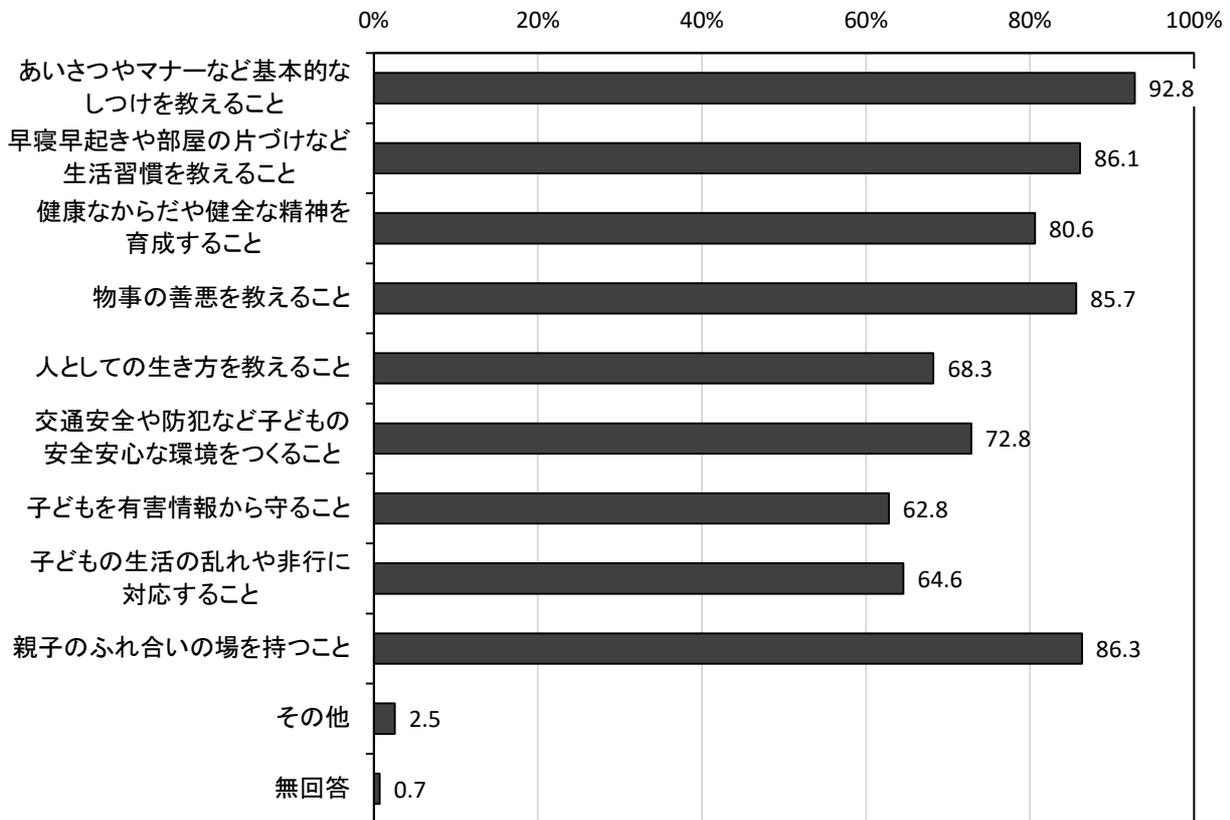
家庭教育の充実のために必要なものについては、「親がもっと家庭教育に取り組むこと」が70.9%で最も高く、次いで、「行政が支援すること」が57.1%、「企業などが家庭教育をしやすい環境づくりに協力すること」が51.0%となっています。



(47) 家庭教育の充実のために家庭が取り組むべきことは何だと思えますか。〈複数回答〉

【保護者：問 47】

家庭教育の充実のために家庭が取り組むべきことについては、「あいさつやマナーなど基本的なしつけを教えること」が 92.8%で最も高く、次いで、「親子のふれ合いの場を持つこと」が 86.3%、「早寝早起きや部屋の片づけなど生活習慣を教えること」が 86.1%、「物事の善悪を教えること」が 85.7%、「健康なからだや健全な精神を育成すること」が 80.6%となっています。

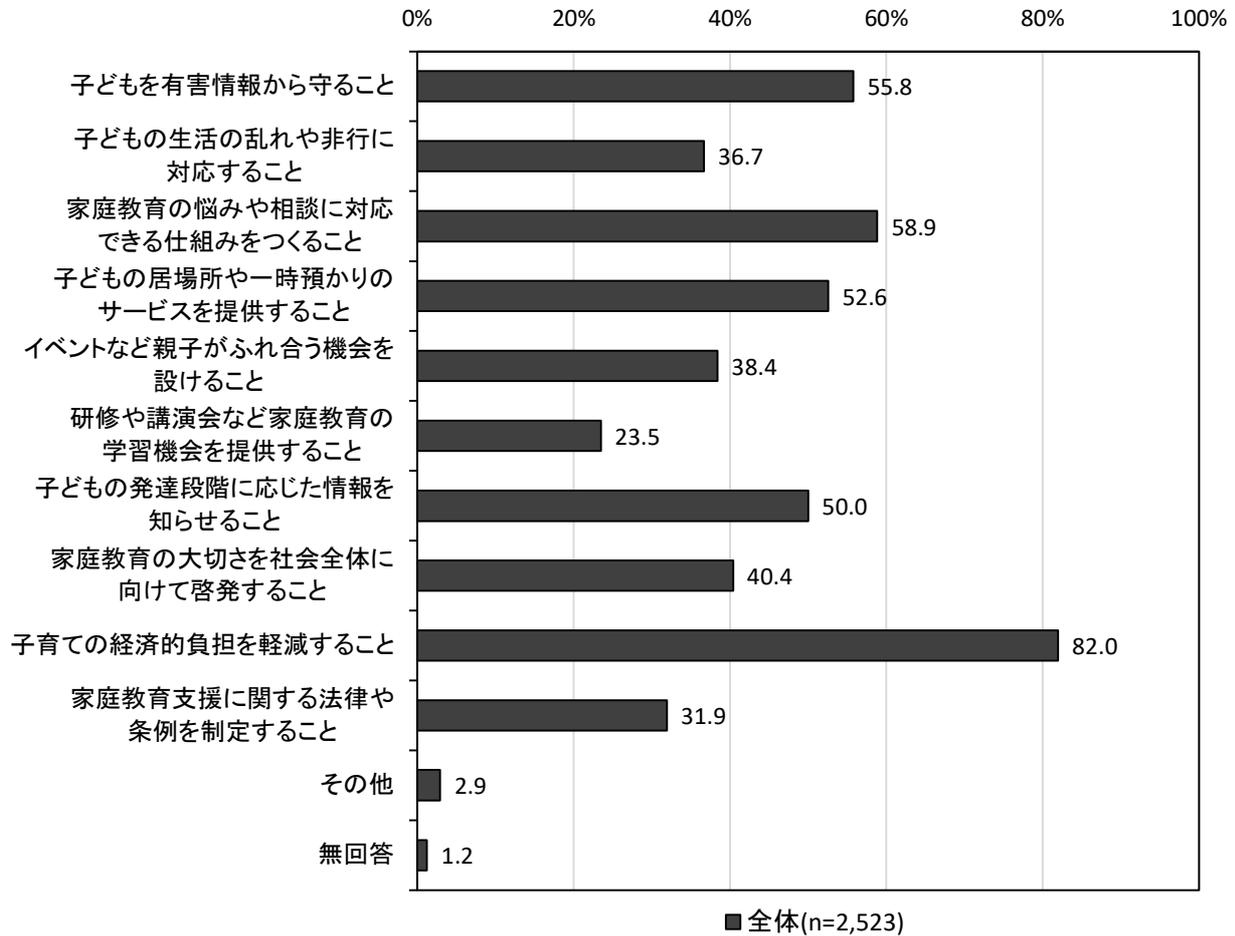


■ 全体(n=2,523)

(48) 家庭教育の充実のために国や市など行政が取り組むべきことは何だと思えますか。〈複数回答〉

〔保護者：問 48〕

家庭教育の充実のために国や市など行政が取り組むべきことについては、「子育ての経済的負担を軽減すること」が 82.0%で最も高く、次いで、「家庭教育の悩みや相談に対応できる仕組みをつくること」が 58.9%、「子どもを有害情報から守ること」が 55.8%となっています。



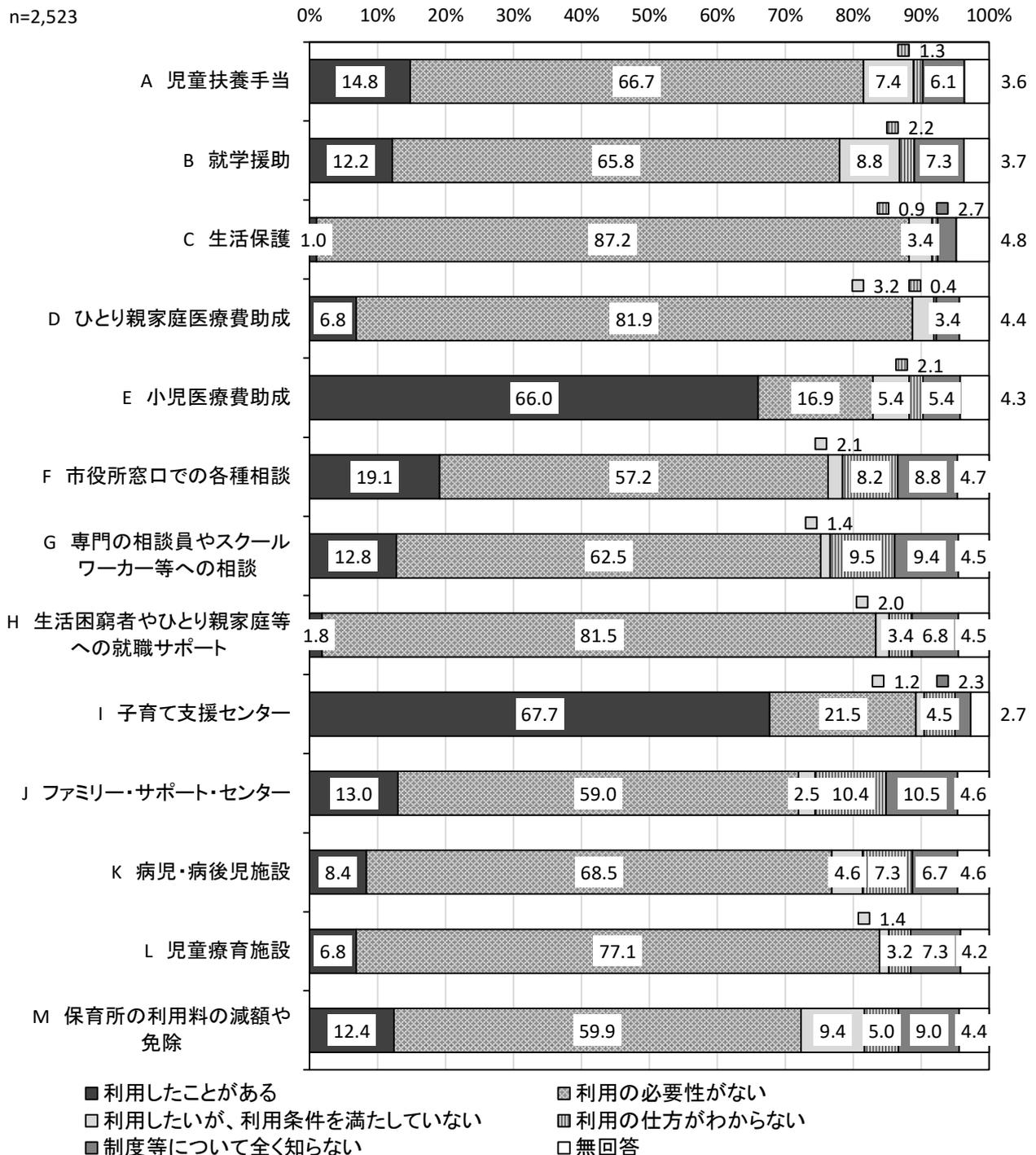
(49) あなたのご家庭では、次の支援制度等をこれまでに利用したことがありますか。〈単一回答〉

【保護者：問 49】

A～Mの支援制度等の利用経験について、「利用したことがある」の割合をみると、[子育て支援センター]が67.7%で最も高く、[小児医療費助成]が66.0%、[市役所窓口での各種相談]が19.1%となっています。

また、「利用したいが、利用条件を満たしていない」「利用の仕方がわからない」「制度等について全く知らない」を合わせた『利用なし』の割合をみると、[ファミリー・サポート・センター][保育所の利用料の減額や免除]がそれぞれ23.4%で最も高く、[専門の相談員やスクールワーカー等への相談]が20.3%、[市役所窓口での各種相談]が19.1%となっています。

n=2,523



(50) あなたが必要と感じる支援や要望、困っていることや悩んでいることなど、何でもご自由にお書きください。

【保護者：問 50】

必要と感じる支援や要望、困っていることや悩んでいること等については、816 人から合計 1,018 件の回答がありました。記入内容を分類した結果は次のとおりとなっています。

必要と感じる支援や要望、困っていることや悩んでいること等	件数
■ 幼児期の教育・保育に関すること	
幼稚園・保育所等の充実・改善（待機児童・一時預かり含む）	70
幼児期の教育・保育の無償化、保育料	25
■ 子どもの居場所に関すること	
子どもの居場所（児童館、図書館、体育館、公園、遊び場など）	96
放課後児童クラブの充実・改善	15
放課後・長期休み・休日の子どもの居場所	14
その他、子どもの居場所に関すること	5
■ 子どもの教育に関すること	
子どもの教育費に関する悩み・支援（就学援助、教育の無償化含む）	78
教育制度・学校のルール（学区・制服・指定用品など含む）	19
学習支援・補習・学習できる場所・習い事	17
学校教育の充実	13
給食・給食費	10
進学に関する支援	10
いじめ・登校しぶり・不登校・フリースクール	9
教職員（教員・人員配置・授業内容などを含む）	8
PTA	7
その他、子どもの教育に関すること	12
■ その他の子ども・子育て家庭に対する支援施策について	
子育て世帯への経済的支援・住居費・家計の悩み（児童手当、コロナ禍での給付金含む）	140
病院・医療・医療費・小児医療費助成・健診・予防接種等	88
子育て家庭に関する相談・情報提供・講座・イベント・つながりづくり	61
保護者の就労、子育てとの両立に関する悩み・支援	44
一時預かり・送迎支援（病児・病後児保育、ファミリー・サポート・センター含む）	43
障害・発達障がいのある子どもへの支援、特別支援教育	39
ひとり親世帯への支援（児童扶養手当・養育費等）	30
家庭での心配事・悩み（DV・虐待・家族関係、近隣の気になる家庭等）	22
防犯・交通安全・登下校の安全確保・不審者対策等	19
アンケート調査に関すること	15
保護者・家族の心身の健康・障がいなどの悩み・ダブルケア	12
ゲーム・スマートフォン・インターネット等に関すること	8
その他、子育て支援・施策について	57
その他、行政への要望（教育・子育て支援を除く）	32
合計	1,018